

# Saber

～ヒロユキFate同人誌総集編+α～







## 自称清純派

fate同人誌をはじめとして、その他の同人誌や、  
アンソロジーに収録されたマンガを惜しげもなく収録！  
「Len ～ヒロユキ月姫同人誌～」とあわせて読めば面白さ倍増!!!  
ヒロユキの恥ずかしい過去を是非ご覧あれ。



# Saber

～ヒロユキFate同人誌総集編+α～





自称清純派



# Saber

～ヒロユキFate同人誌総集編+α～





S a b e r ~ヒロユキF a t e同人誌総集編+α~

目次

- P 005 プラトニックマジシャン
- P 023 プラトニックマジシャンH
- P 045 プラトニックマジシャンH 2
- P 071 プラトニックマジシャンE x t r a
- P 091 dress of the diamond
- P 097 君のお尻にゲイボルク
- P 103 leaf fight
- P 107 晴れのち洪水
- P 115 ブルマと王
- P 125 characters
- P 177 ピュアナド
- P 197 エッチ日和
- P 206 マリア様が淫乱
- P 208 あとがき



プラトニシツキヤ

PLATONIC / MAGICIAN



---

# *Saber*

---

～ヒロユキFate同人誌総集編+α～

第一話「恋」

セイバーは

よく食べる



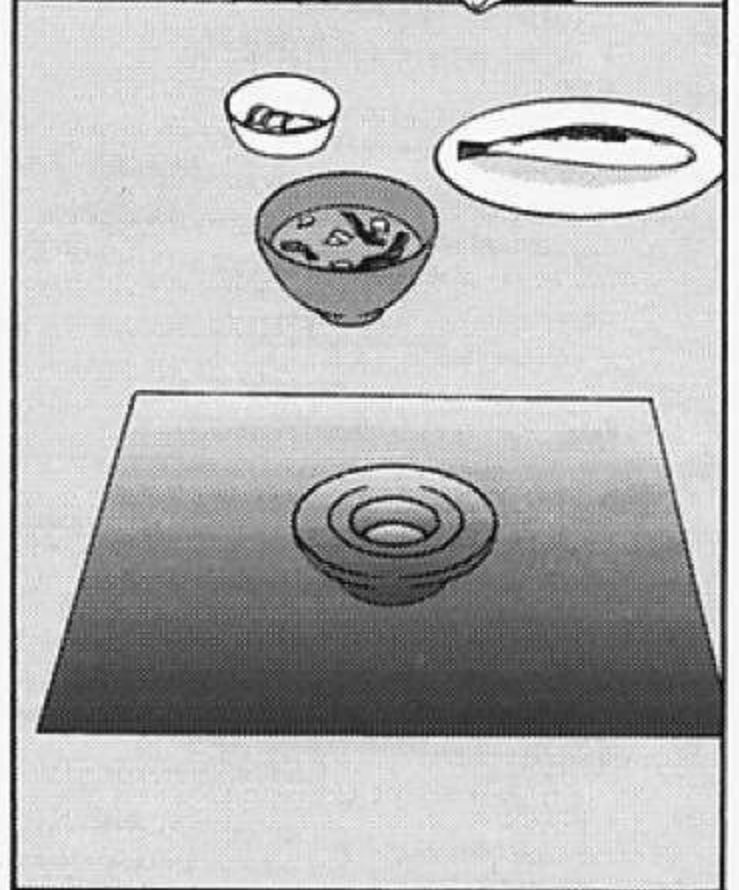
その姿を  
見ている  
だけで：

幸せな  
気持ちになる  
のは何故：



ああ……

美味しかった





# 第2話「恋の順序」





第3話「恋は伝染病」





# 第4話「恋は一つ屋根の下」





第5話「恋、しちゃった」





第6話「恋は言葉で伝えて欲しい」





第7話「恋のレッスン」



そして

さあ……

準備出来た  
わよ士郎……

いらっしやい



せ……性行為がエッチな  
事ということは  
わかるんだけど……  
なんとなく……

実は俺も具体的な事は  
知らないんだ……だから

さっきの遠坂と同じ  
質問なんだけど……

その……

……?  
……



俺にも詳しく  
教えてくれ！

セイバー！

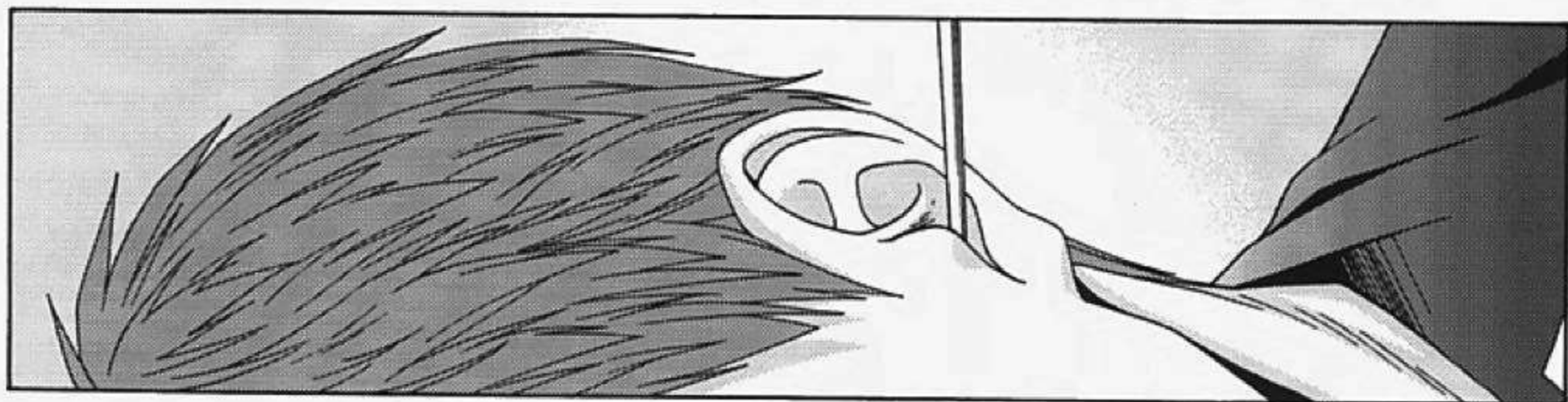


……

えーと……



# 第8話「恋のステップアップ」



とりあえずend



番外編「プラトニックラヴ」

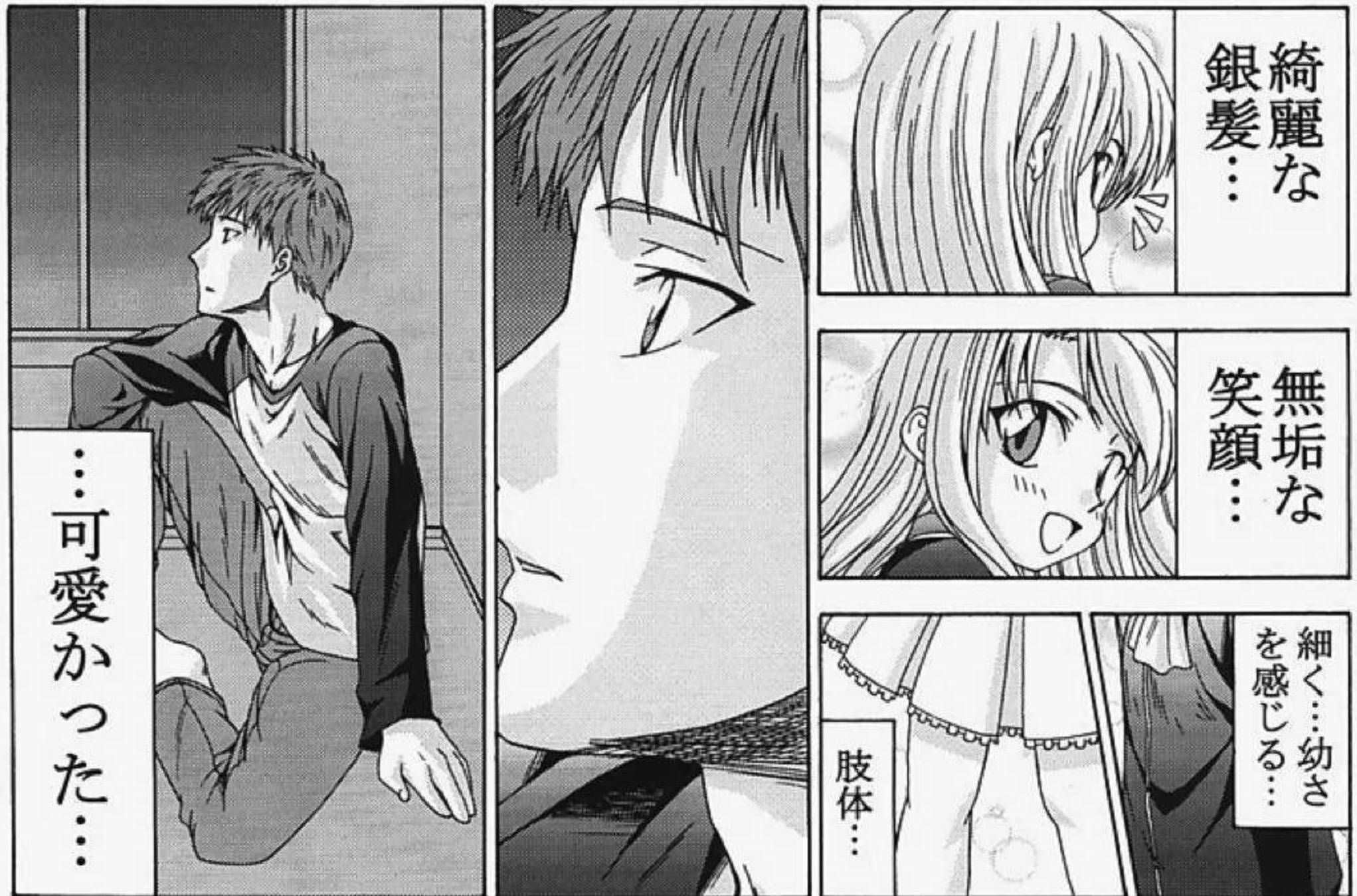


今日…街で  
イリヤという  
少女に出会った



まるで  
違う印象

以前会った  
時とは…



…可愛かった…

綺麗な  
銀髪…

無垢な  
笑顔…

細く…幼さ  
を感じる…

肢体…



ふんふん...

可愛かった...







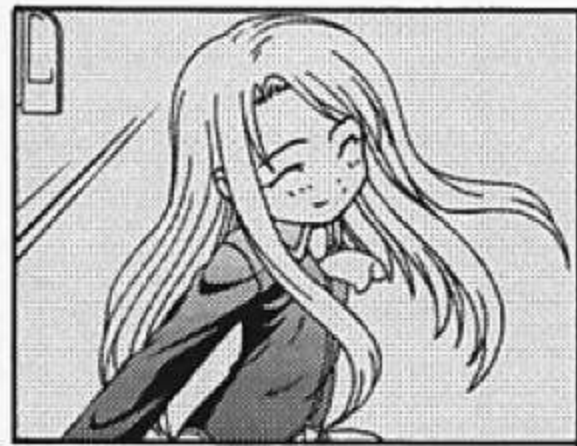
…だけど…

俺はこの想いを  
伝える魔法を  
知らない…



恥ずかしがり屋な  
純情魔術師…

今はただキミの  
微笑を望み

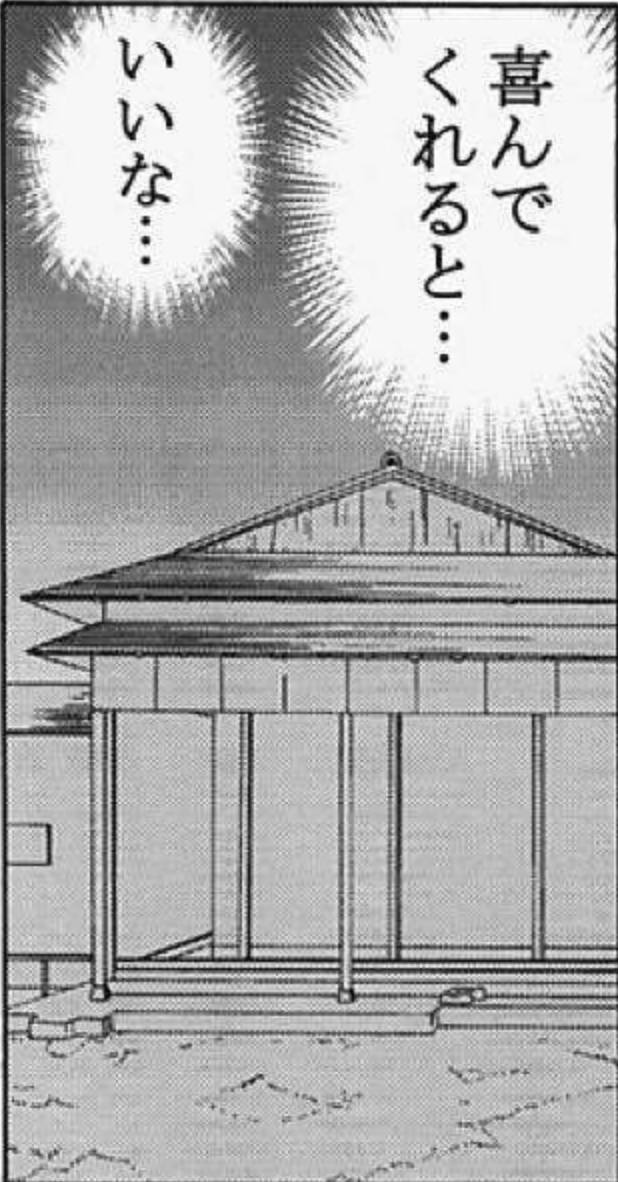


愛のかけらを  
形にして贈ろう…



喜んで  
くれると…

いいな…





次の日



お兄ちゃんっ



イリ…



えへ

また  
会ったね



え…あ…イリヤ  
…その服は…



え？

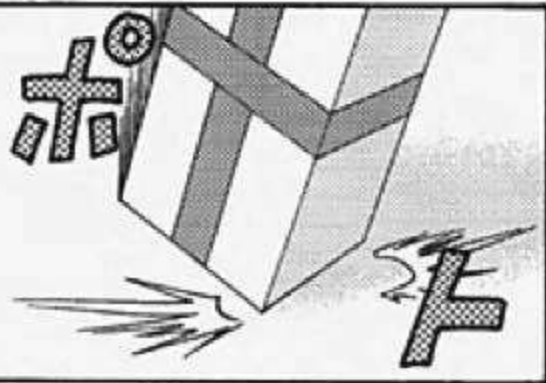
ああ…今日は  
ちよつと…

道場が…

そ…そうか…



もう  
持って…



？

何  
これ



あ…  
それは…





ブルマ……



あ……



これ……もしかして  
わたしに？

……そのつもり  
だったん  
だけど……

イリヤが同じ服を  
持ってるなんて  
思わなくて……

その……



シロー……



また今度  
改めて……

イリヤが喜び  
そうな物を  
考えてくるよ……





.....

わっ

サイズ  
ぴったり♪



!



うれしいっ

シローって私の事を  
とつても良く見て  
くれてるのね♪



：確かにイリヤの  
下半身には自然に  
目がいったけど...

ど...  
どうして...

ん？

ちようど一着  
予備が欲しいな！  
と思つてたところ  
だったし

予備？

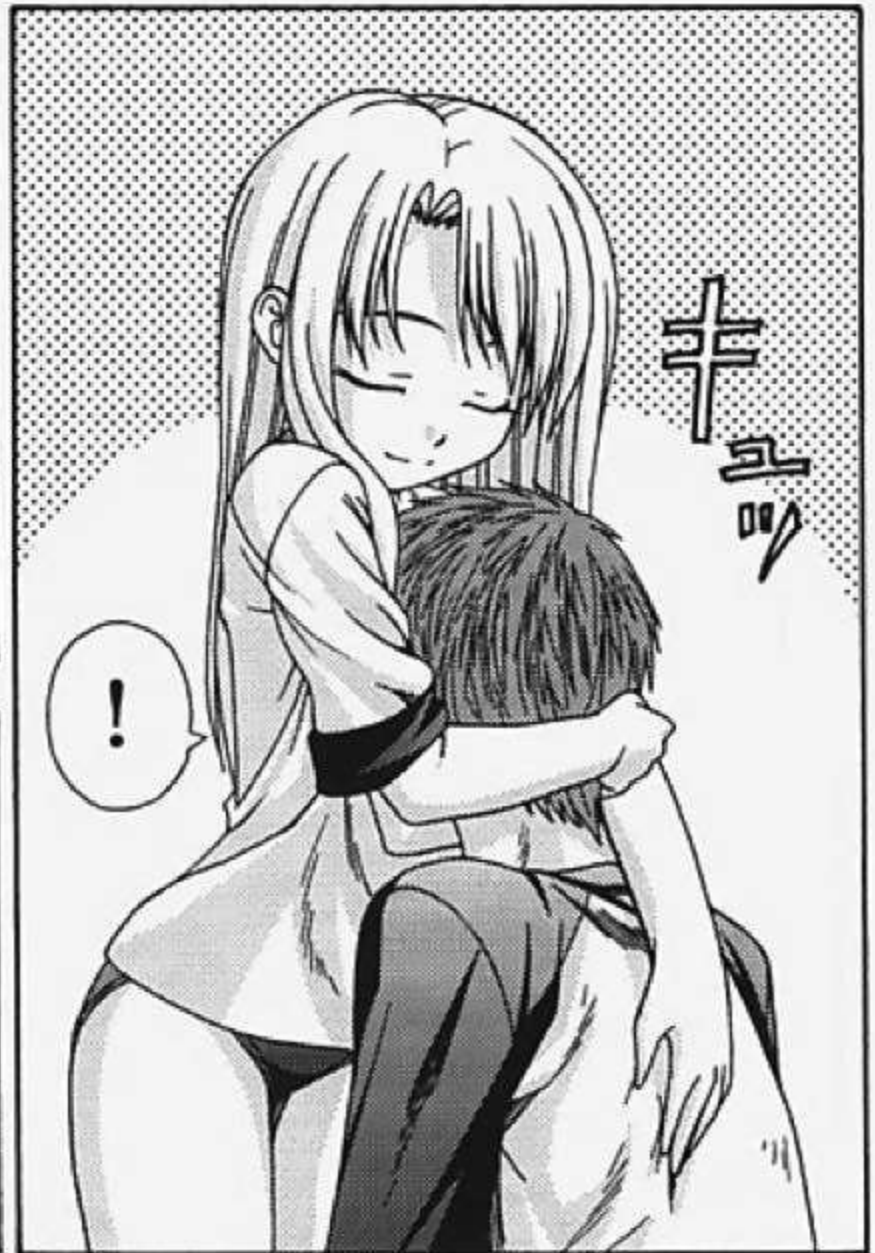
...その...













プラトニシツナ

PLATONIC / MAGICIAN-H

FA





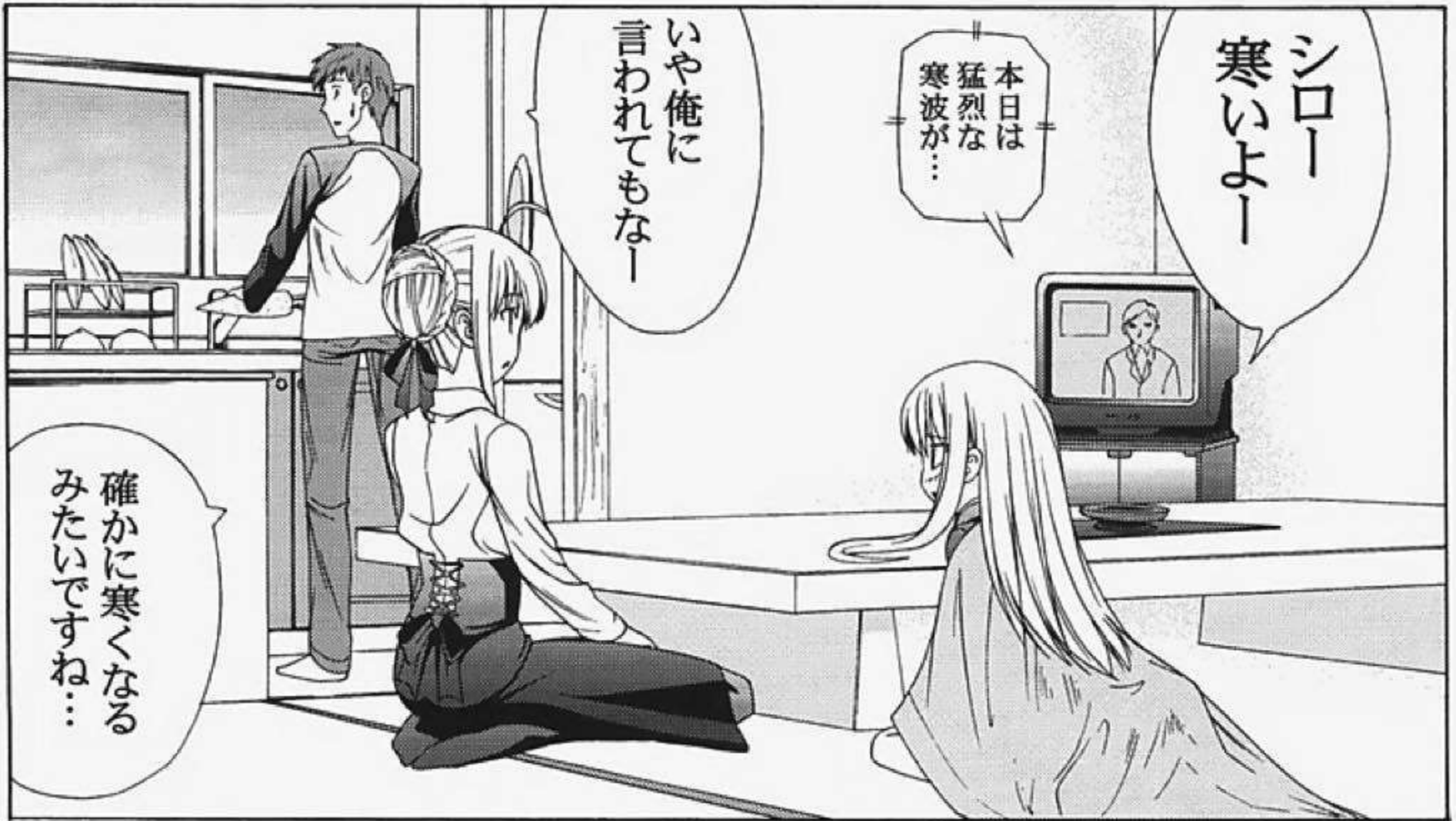
---

# *Saber*

---

～ヒロユキFate同人誌総集編+α～









うー

寒い…

クズ

ジュウウウ…

ホントに寒いのが  
苦手なんです

「こんな寒い日は」

ヒロユキ



いいわよねー  
セイバーは

何がです？



こんな日はシローと  
裸で暖めあつてるん  
だもん

なっ



ああ…シローウ…  
気持ちいいです…

ん…

ああ！

も…もういっせいでしまいます  
中に…中に  
出して下さる——



な…なんですか  
それは…

え？ まあ一緒の家に  
住んでればたまたま色々  
聞こえちゃう事もねえ

イ…イリヤ  
スファイール！

あははー

…まったく…

早くストーブを  
探しましょう

う〜扉開いてると  
風が〜

ゴゴゴゴ  
うん

イリヤスファイール  
いくら寒くても  
こんなに暗くても  
探しようが…

これでも寒いのにー

ググ…

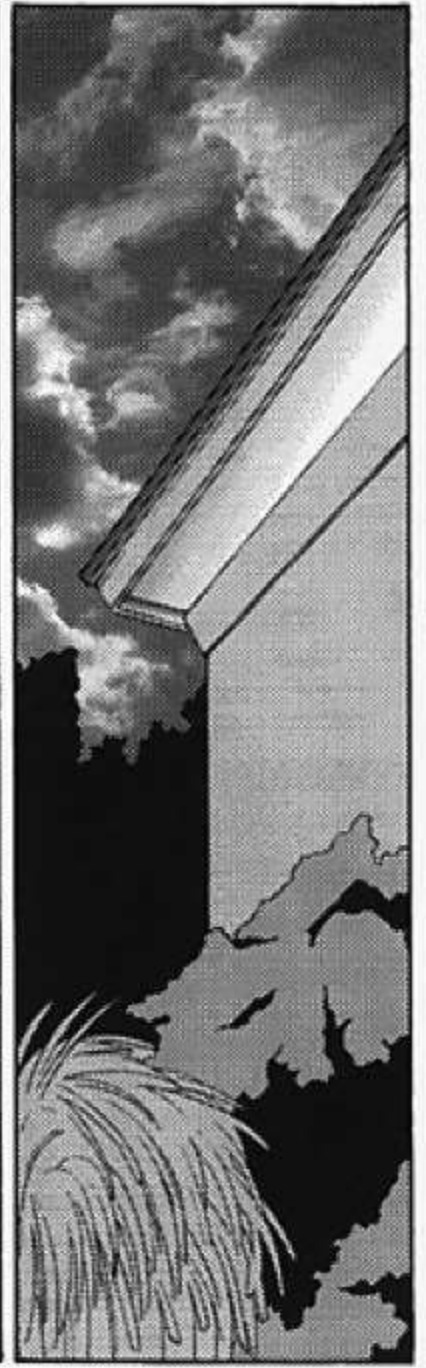
ひ…開き  
ません…

え…

グググググ…

…どうしたの  
セイバー？









えへ

セイバー  
あつたかいね



じゃ…じゃあ…  
その…ふ…  
服を…

ぬ…脱いで  
下さい…



うう  
ブルッ

!  
でも  
まだ寒い…



え!?!  
裸で暖め  
あうのです!

ええ!?!  
寒がつてるのにこのまま  
にはしておけませんよ!

ちよ…  
セイバー  
女同士でなにを  
恥ずかしがつてるのです



……





うん…  
落ち着いた…

どうですか？  
暖かいでしょう



しかしこんな  
綺麗な体じゃ  
シローも  
ゆるわく  
されるはず  
よね…

きゃっ

びん





シローは私が  
狙ってたのになー

！

もみっ

きゃー！

セ：  
セイバー……

お返し  
ですよ それに……

イリヤの体が  
とても綺麗  
だったの……

え！

な……何言つて  
るのよ

もみっ

本当です………  
よー！

あ！

むいっ

なにするのよー

ひゃっ  
もみっ

やりましたね！

もみっ

もみっ

えい！

もみっ

こわいよん  
ですー！

いのー！

やー















...میں





前回のおさらい。

次のページから載ってるマンガは  
前回「プラトニックマジシャン」の  
↓の話の続きっぽい感じです。  
バーサーカー戦の前のアレです。

…まあそれだけです。適当にどうぞー。





その1「無知ゆえに…」





その2「教えてセイバー」





その3「セイバーったら…」





その4「士郎の優しさ」





その5「やるべきこと」

えつと…これで  
もう供給は  
出来たのか？

いやまだよ  
…出さない  
と…

…出す？

今俺たちは  
セイバーの  
魔力を回復  
させる為に…

…良いから腰でも  
振つてなさい！  
気持ちよくなるわよ

…遠坂…

大事な時  
なんだ…  
遠坂だつて  
分かつてるはず

なのにそんな気持ち  
いいとか…そんな  
場合じゃないだろ…

いいからやれ

わからない…  
わからないよ…

ゴゴゴ

ズン  
ズン  
んあ

ズン



その6「ふぁいと」









性教育を！







プラトニシヤ

PLATONIC / MAGICIAN - H

PLATONIC



---

# *Saber*

---

～ヒロユキFate同人誌総集編+α～





あの日…



バーサーカーを倒すために  
魔力供給  
セイバーに性的行為を  
してから…

以前にも増してセイバーの事を  
考えると胸が熱くなる…  
この気持ちは一体…



その…魔力が少なくな  
って来たので…

また…  
お願い出来ますか…



あ…  
シロウ…

ど…どうしたんだ  
セイバー!?



あ…

う…

うん…

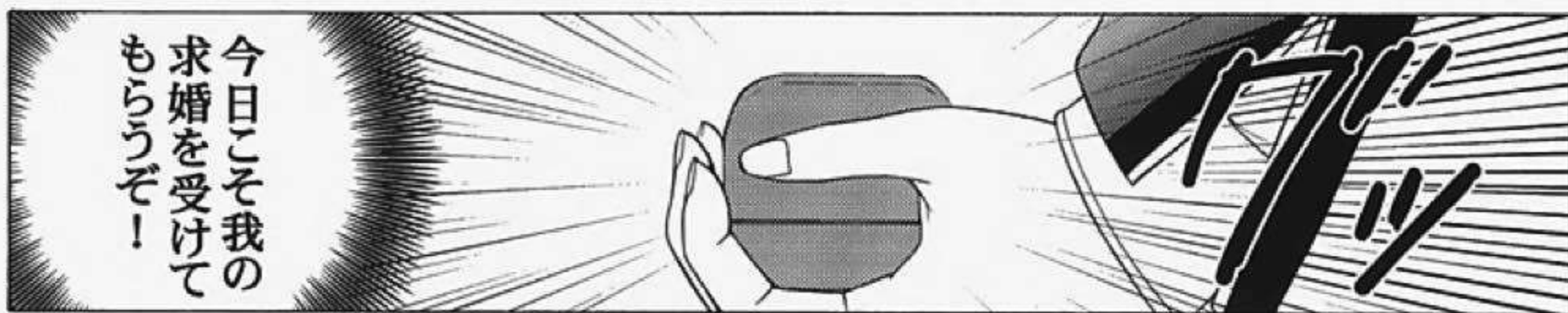




我が麗しの  
セイバーよ…



今日こそ…



今日こそ私の  
求婚を受けて  
もらうぞ！



そして我と激しく  
交わろうでは  
ないか！

この日の為に  
一週間溜めた我に  
出来ぬプレイは無い！









ギ…  
ギルガメツシユ!

え…

ちょ…

!?









だ  
—  
！  
我  
の  
物

セイバーは…

ズカッ

ズカッ

ズ

ズ

ズ

ズ

ズ

ズ

ズ









オレはセイバーに魔力を供給してただけだって！

その方法が問題  
なんだらうがー！！



雑種風情が

嫌がるセイバーにムリヤリしやがって！

だから違うって！



最初の時にちゃんとセイバーが…

ガッ  
ガッ





セイバーが  
自分のお○○○に  
俺のお○○○んを  
ぶち込んでくれて  
言ってくれたん  
だよ——！

!?



ふ…ふざけるな！  
セイバーが雑種如きに  
そんな事言うわけ  
無かるう！













我だつてうすうす  
感付いていたわ…

最初は恥ずかしがつてる  
んだと思つていたが

よくよく考えると  
いつも汚いものを見る  
目で見られていた…

嫌ですよ



ああ確かに我はセイバーに  
嫌われているさ！

でも最近はそんな目で  
見られるのもちよつと  
気持ち良いかなーつて！



…もういい加減  
諦めろよ…

いやだー！

我だつて…

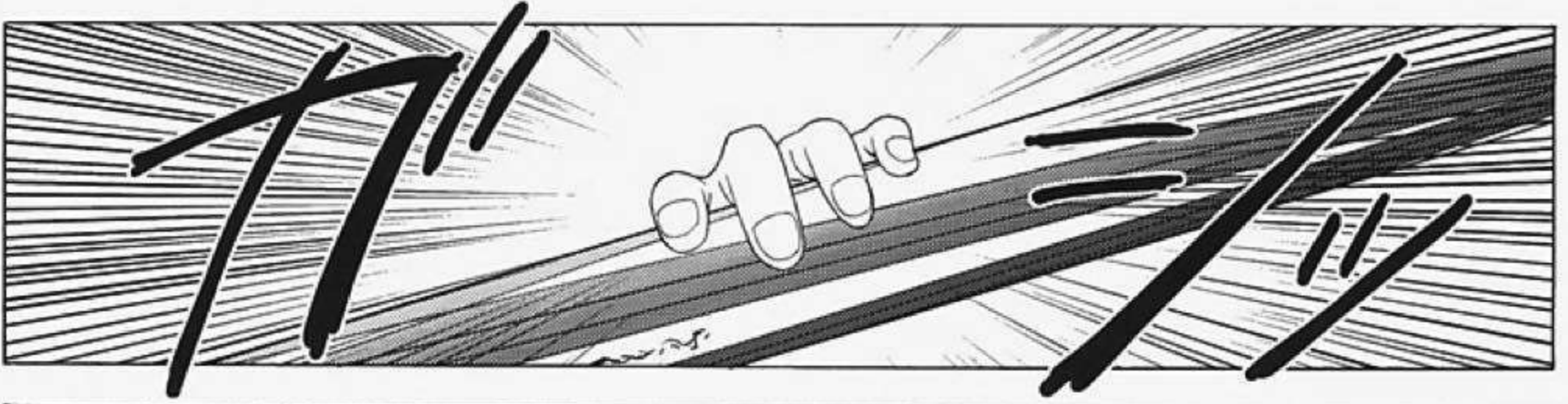
我だつて…

ズズズ…













どろりやらのこの雑種は

我のちんこを  
セイバーの肉壺が  
くわえこんでも  
平気らしいぞ



オチー



そんな事は！  
シロウはちよつと鈍い  
だけで…

ふふ… ならば  
我も心置きなく  
貴様を殺し…

ま…  
まただ…

何でこんなに  
胸が苦しい…

セイバーの中で存分に  
出し入れするとしてよう

愚かな雑種よ…





我らの結合シーンを  
想像して死ね——！



シロウ  
危ない！



セイバー……



あ……



泣いてる…

あいつより  
俺とのエッチを  
望んでいると  
いうのか…？

嬉しい…

俺も  
セイバーと…

そうだったのか…

今までセイバーに  
感じていた  
この胸のドキドキ…

あの日魔力供給を  
してからふくらみ  
続けた想いと股間…

あ……







ア



気付いたんだ  
自分の気持ち……

自分のしたい事……

だからギルガメッシュ!

お前にセイバーは  
渡せない!

俺がセイバーと  
セックスするん  
だ!













終わり



---

# *Saber*

---

～ヒロユキF a t e同人誌総集編+α～



プラトニシヤン

PLATONIC / MAGICIAN

# Extra





---

# *Saber*

---

～ヒロユキFate同人誌総集編+α～



今日はイリヤと  
二度目のデート



シローと  
二人っきりで  
プールでデート♪

はは



この間は  
皆と一緒にだったしな  
やり直して事で

うん  
うれしー

今日はセラとリズも  
置いてきたしー

どっかにいそうな気はするけど…



ほら早く  
行こー

はいはい



わくわくざぶーん  
男子更衣室

で やつぱり  
貸切なんだなあ…

ガラ〜ン

でもあんなに喜んで  
くれたなら誘った  
甲斐はあったかな…

うん

嬉しそう  
ですね

!

ド  
キ  
ッ

なっ  
カ…カレン!?

ごきげんよう  
衛宮士郎





ど…どうして  
こんな所に…  
男子更衣室…  
というか

いえ あなたが  
あまりにも幸せそう  
だったものでつい  
邪魔を…

それと駄犬の分際で  
主人以外の女に振り回される  
あなたを見て

ニッ…

妙にいじめたく  
なったというか…

ドサッ  
うわっ

どうやらココには  
私達しかいない  
ようですし

丁度  
いいです

丁度いいって  
カ…カレン…?

フムフム





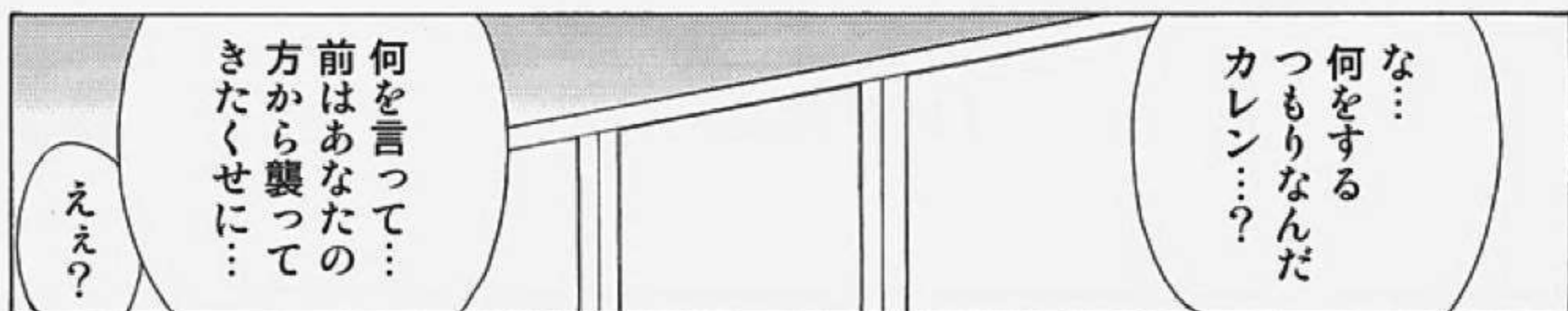
—つてあれ？  
いない…？



シローおまたせー



な…なんか  
嫌な予感が…



な…  
何を  
する  
つもりなんだ  
カレン…？

何を  
言っ  
て…  
前は  
あな  
たの  
方か  
ら襲  
って  
きた  
くせ  
に…

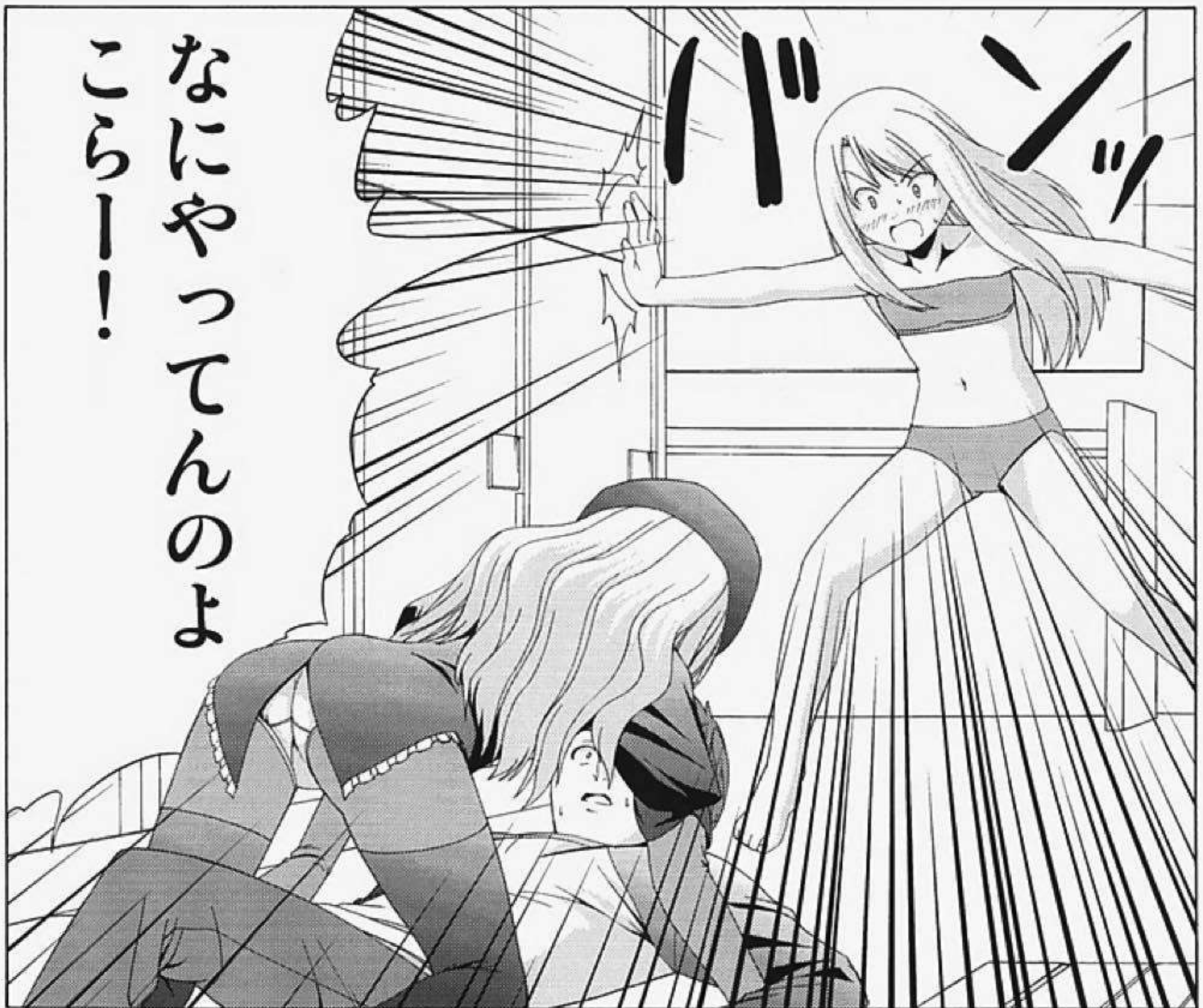
ええ？



だから今度は  
私の方から  
襲ってあげよう  
と  
い  
っ  
て  
る  
ん  
で  
す

も…も  
しか  
して  
セッ  
クス  
を  
す  
る  
つ  
も  
り  
な  
の  
か  
!?









…衛宮士郎が  
股間がかゆいと

そんなわけ  
ないでしょ！

そ…  
そんな事



……ああ  
ちよつともつれて

その手は何！  
その手は！

イ…  
イリヤ



…まったく  
子供のくせに  
そういう知識は  
無駄に  
あるんですね…

子供じや  
あーりーまーせーん



あらそう  
じゃセックス  
しようとしてたのよ？

スッ  
もっ少し  
遅まて  
僕もだろ

よ…  
よくも  
ぬけぬけと…







な!?

なななんんで  
そーなる  
わけ!?

え...お...  
俺とセックス  
したかったのか  
イリヤ...?

シ...  
シロー!?

だって怒るって事は  
そういう事でしょう?

そう  
二人でアピールして  
衛宮士郎がセックス  
したいと思った方の勝ち  
衛宮士郎をゲット

な...何で  
そんな...

ああ...

いいわ...  
なら勝負しましょう

その子供な  
体じゃねえ...

むっ

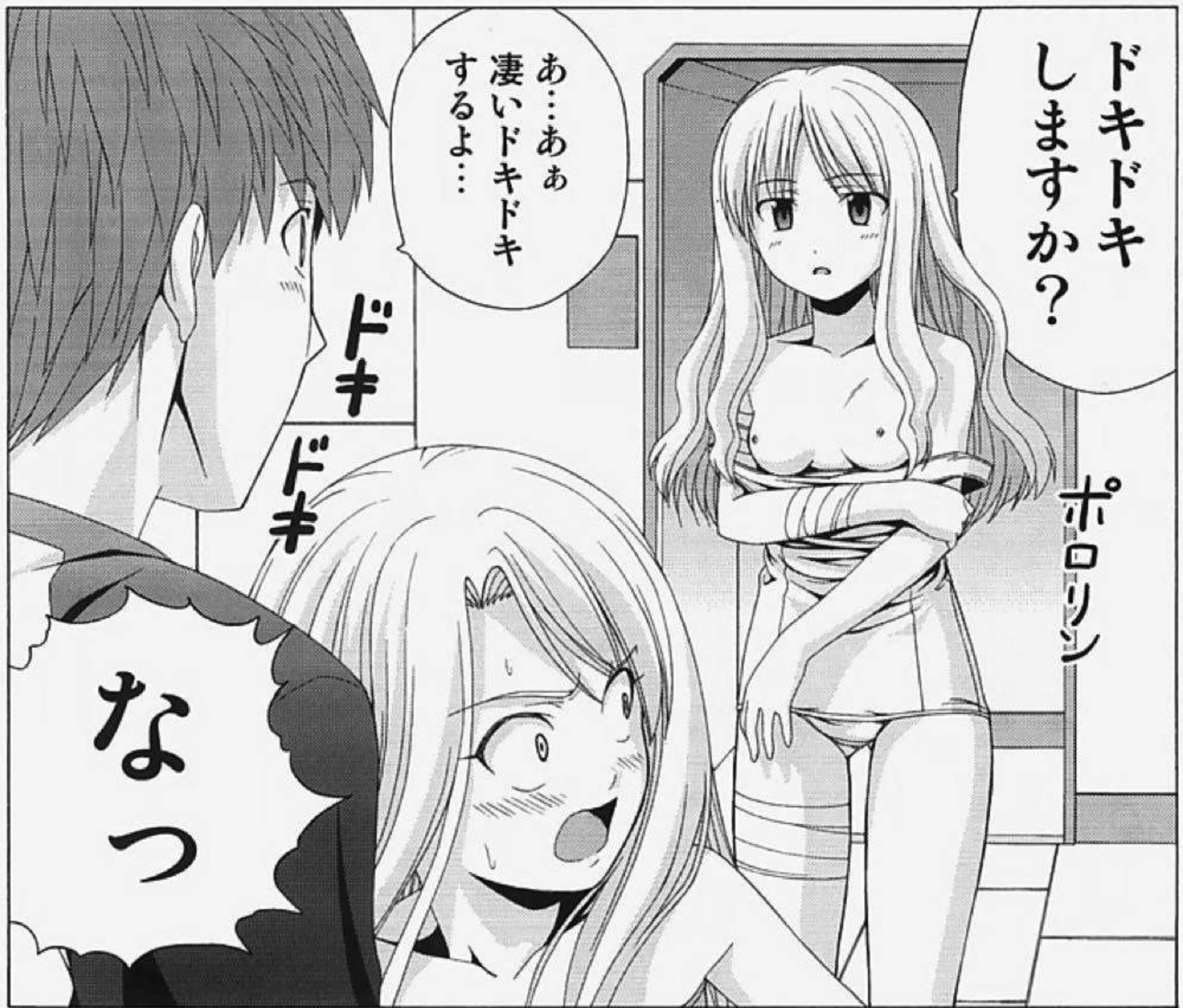
負けない!

しよ...  
勝負?









ドキドキ  
しますか？

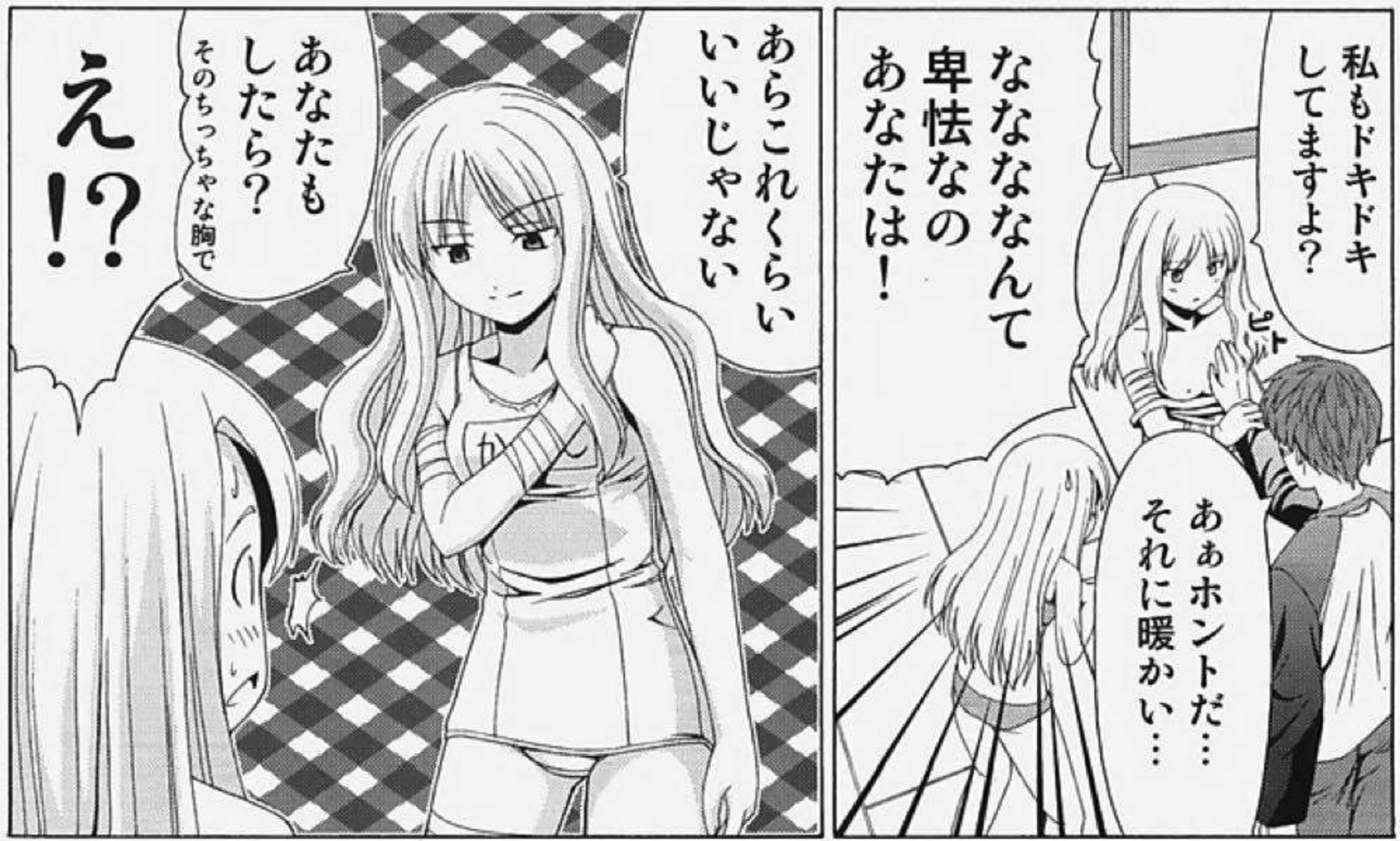
あ…ああ  
凄いドキドキ  
するよ…

ドキ

ドキ

ポロリン

なっ



私もドキドキ  
してますよ？

ななななんて  
卑怯なの  
あなたは！

あらこれくらい  
いいじゃない

あなたも  
したら？  
そのちっちゃな胸で

え!?

ああホントだ…  
それに暖かい…



え……えーと……

ドキ

ドキ

イ……イリヤ……?

ドキ

ドキ

——って出来ないわよ  
そんな事ー!

バツ

つまらないですね……

かれん

スル

スル

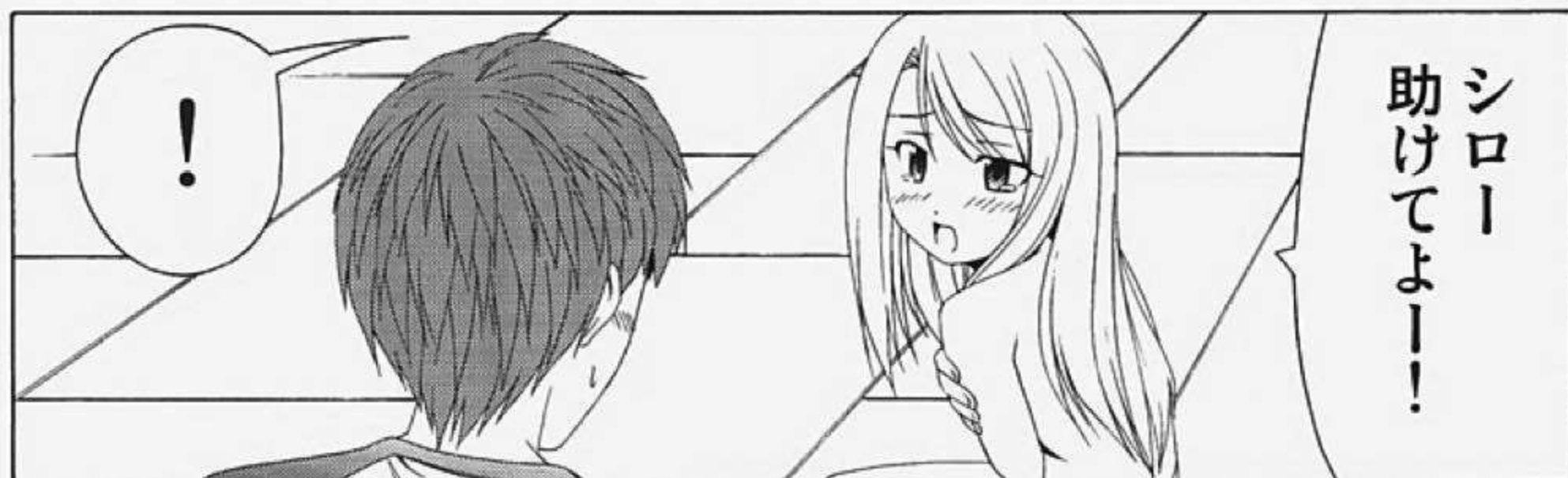
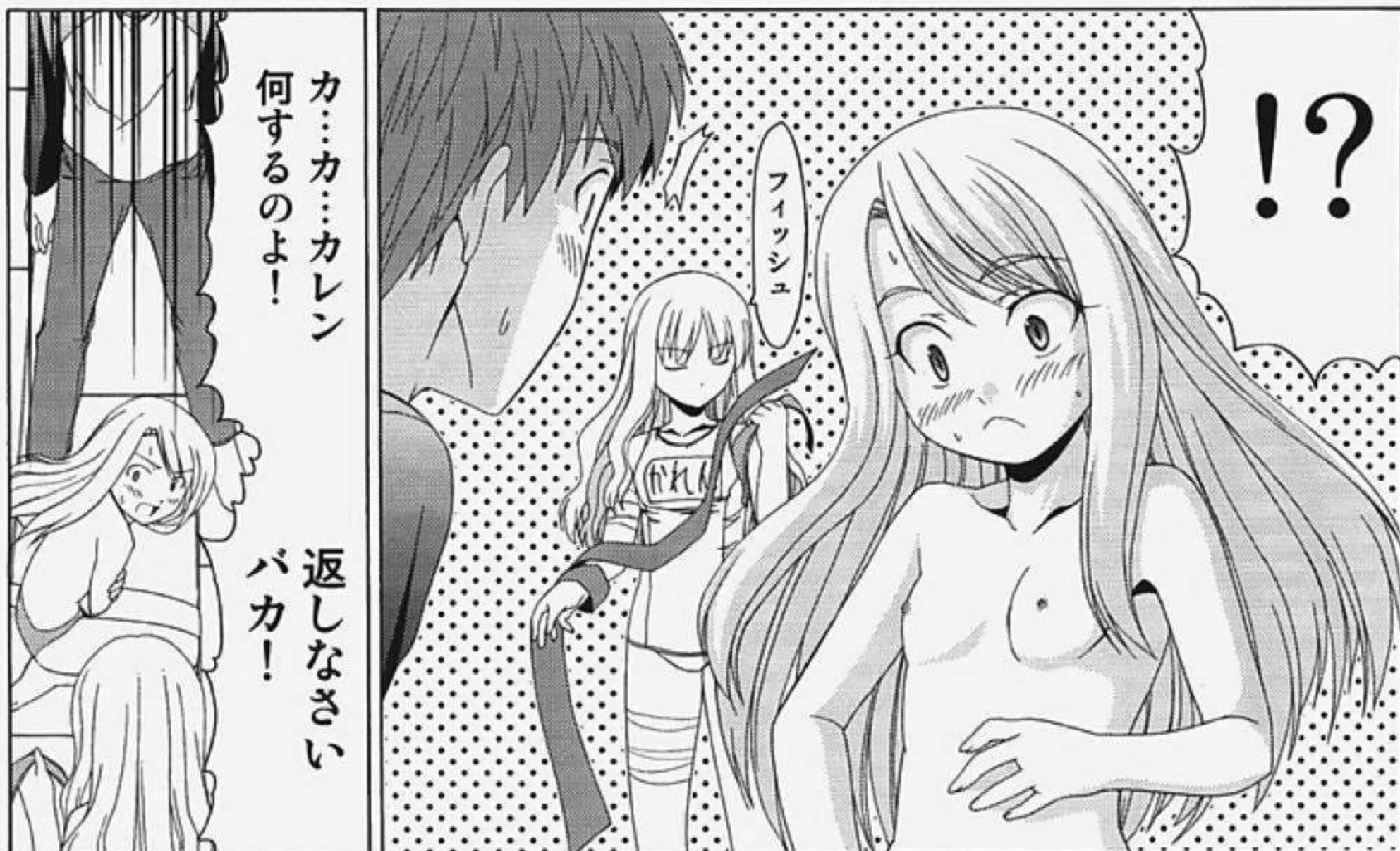
※聖骸布

張り合いが  
なさ過ぎますよ

ニエル…

クエツ





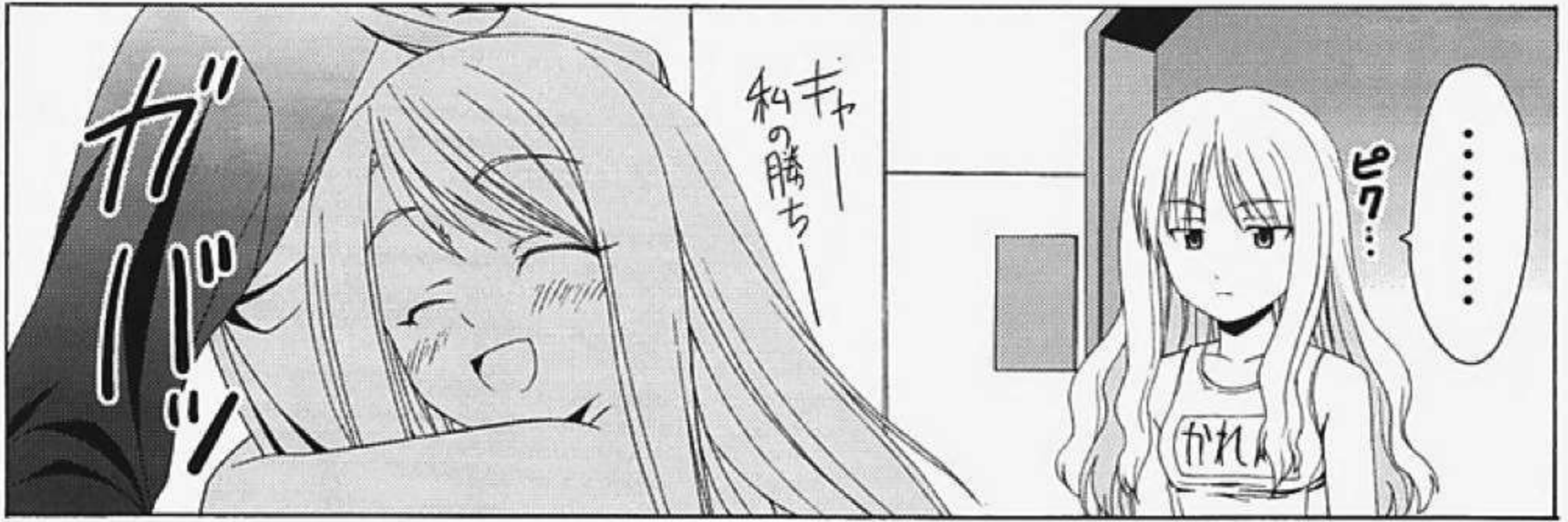












え？ 股間……？

股間を  
そんなにされたら……！



え？  
ど……どうしたの  
シロー……？

Puru

Puru

あ……だ……だめだよ  
イリヤ……そ……そんな事  
したら……

うあっ

Puru



ああ……とんとん  
股間も熱くなって……

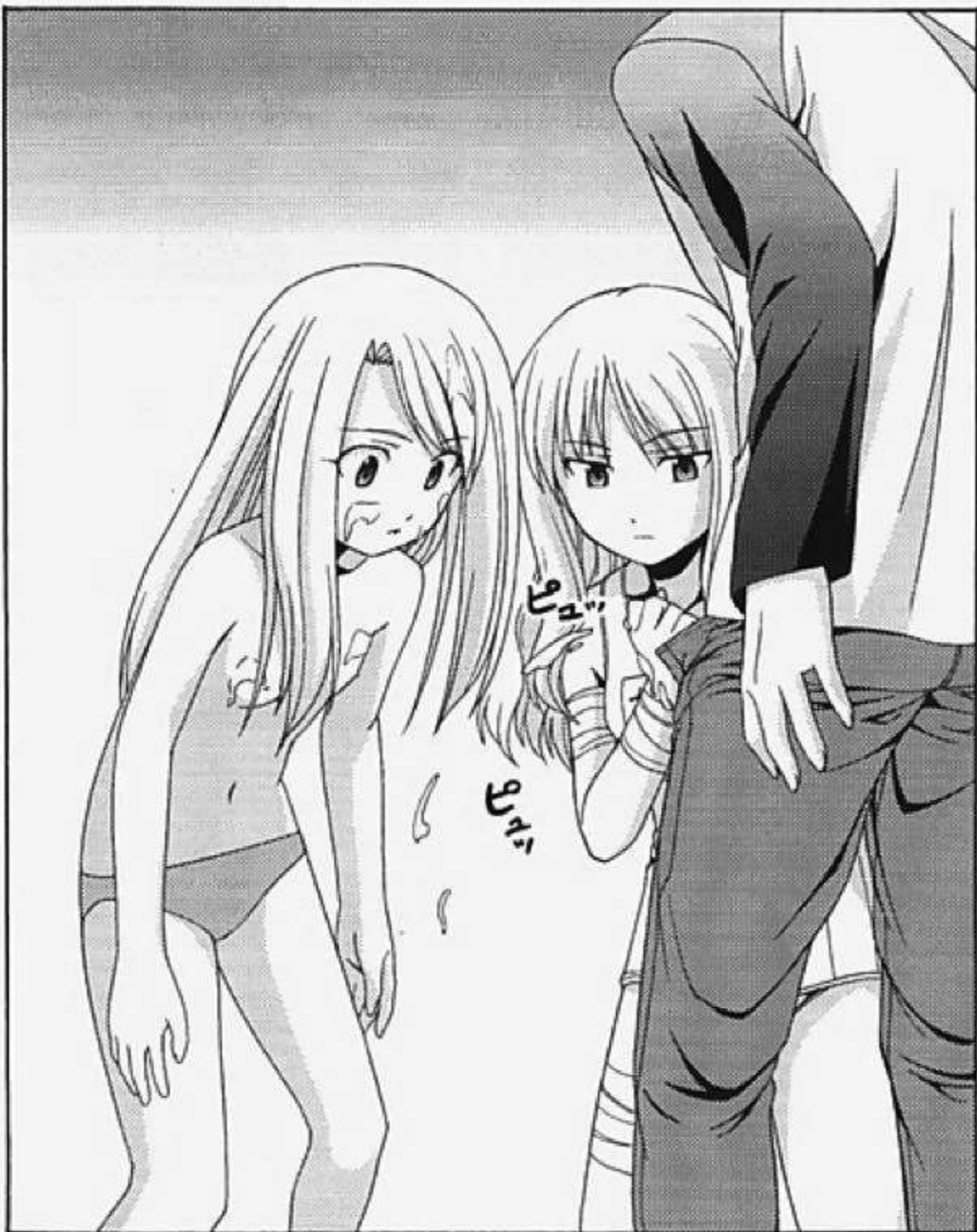


うっ



うっ！











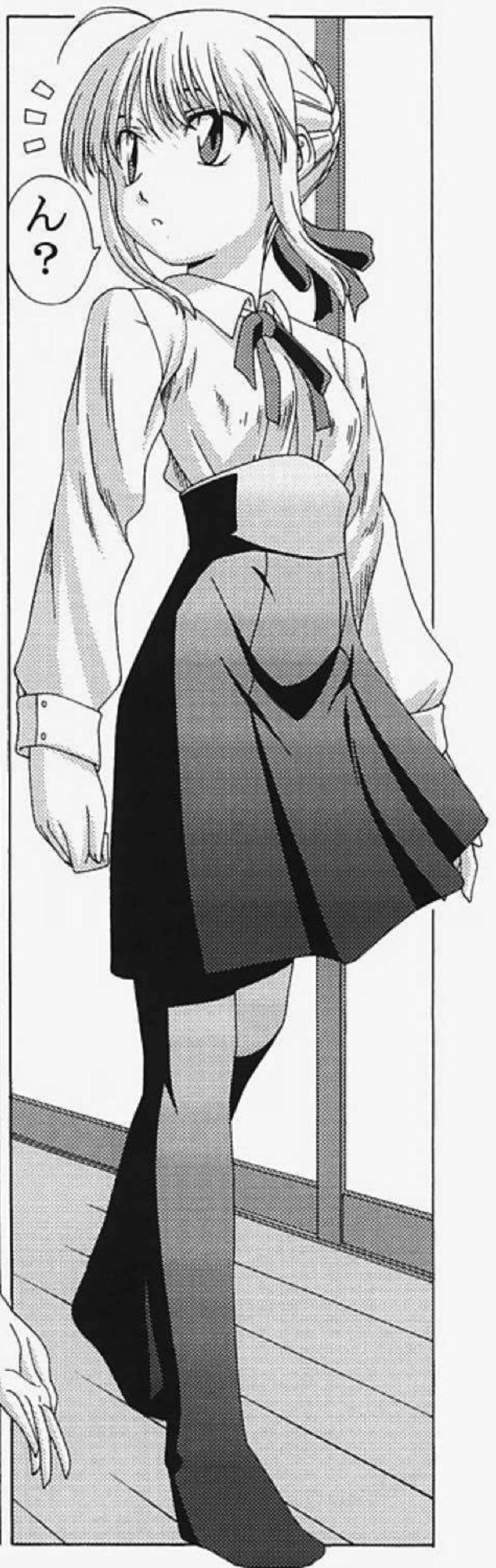
---

# *Saber*

---

～ヒロユキFate同人誌総集編+α～







次の日

今日も稽古  
頑張るかー

ガラ



何だこの  
気持ち……

確かに  
セイバーは  
いつも綺麗だ……

で……でも今日は  
何か……じ……  
次元が違う！

……

な……













…そうか…  
分かったぞ…



つまりその  
ダークブルーダイヤモンド  
紺の三角形は…



キミという  
光に磨かれ…



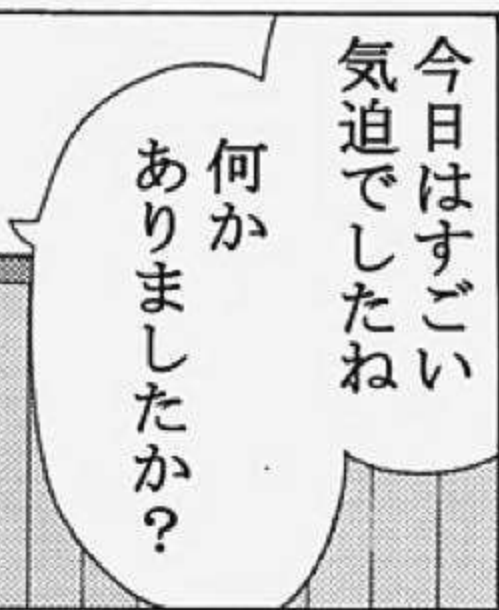
ダークブルーダイヤモンド  
紺の宝石へと  
昇華されたとい  
う訳か——







お疲れ様でした  
シロウ:



今日はすごい  
気迫でしたね  
何か  
ありましたか?



うん...  
そうだね:



一つ...  
大事なことが  
分かったんだ



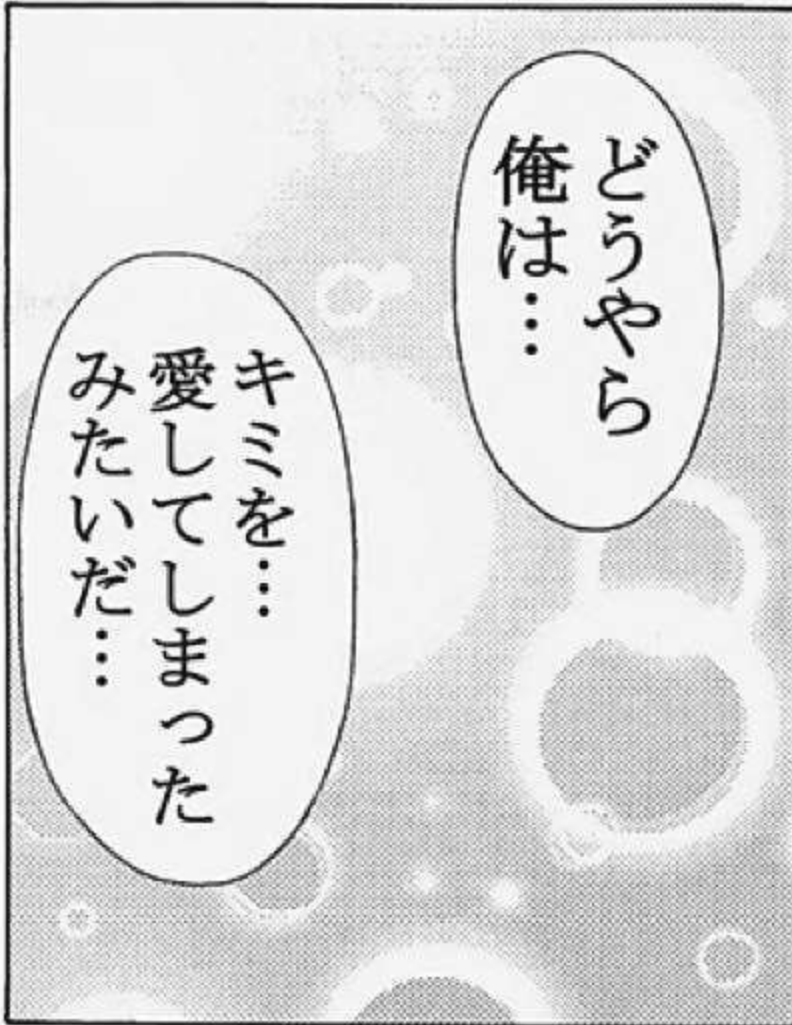
それは  
良かったですね



...

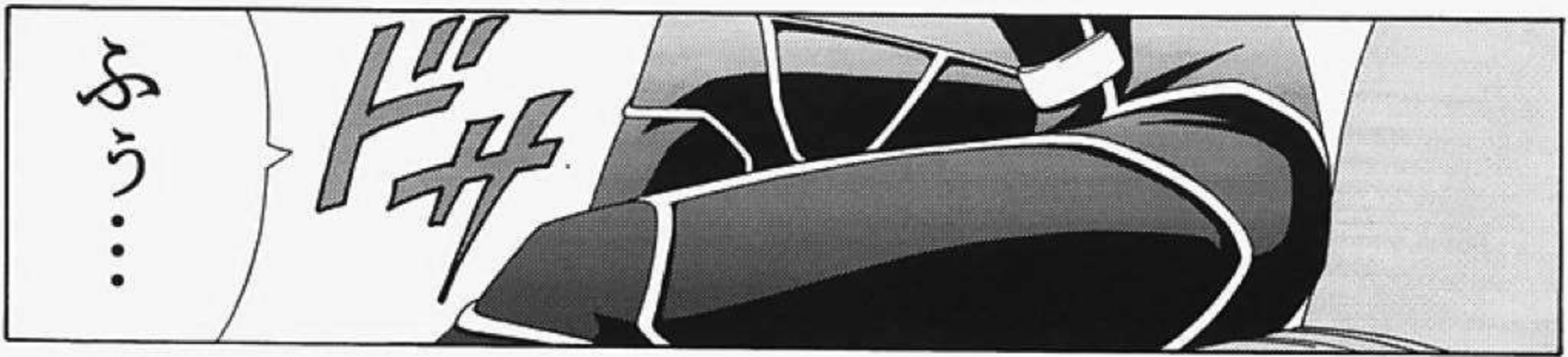


どうやら  
俺は...



キミを...  
愛してしまった  
みたいだ:







次の日

…な…

何のつもりだ  
いったい…

たまには  
息抜きも  
必要であろう  
と思つてな

な…なら  
誘う時に  
何故照れる…

少々気恥ずか  
しくてな

へ…変な趣味は  
…ない…よな?

ん?

なんだ  
それは…

ランサー

あ…いや…

気になる  
ではないか

うげっ



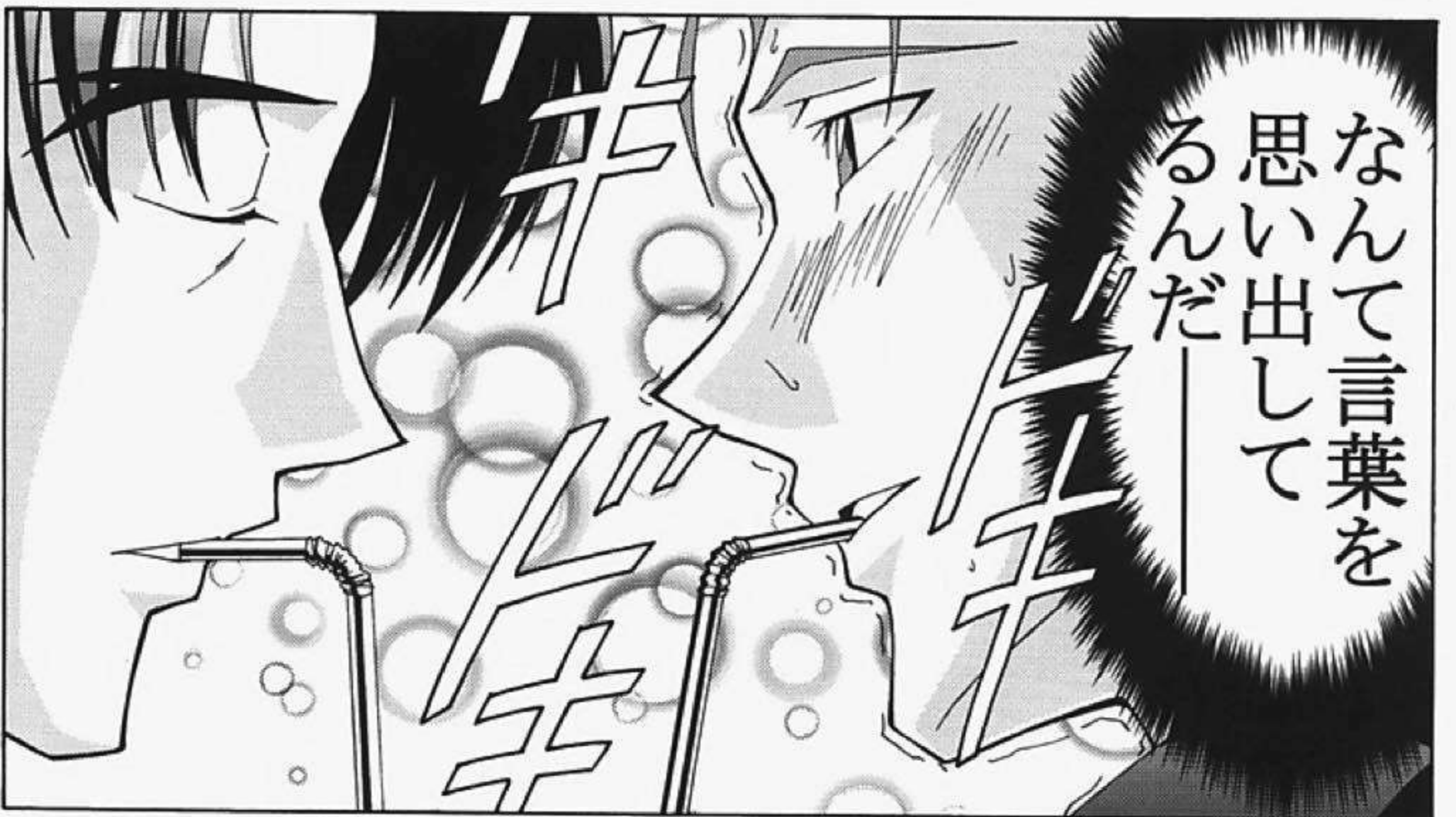






























# セイバ

— !



セイバー！

ドサ..



だ…大丈夫か！

なんで一人で…

シ…シロウ…



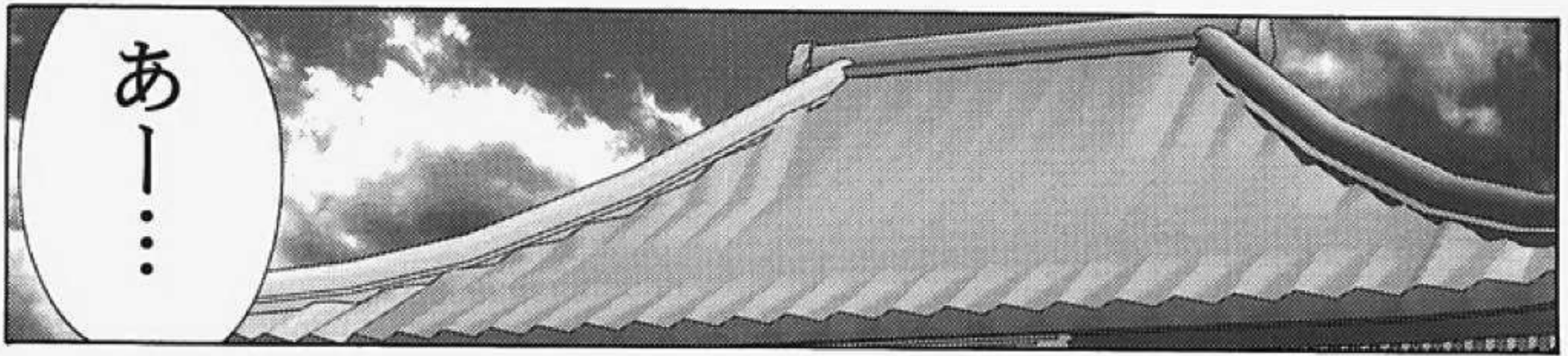
わ…私が…

愚か…でし…た…



セ…セイバー…





あー…

暇だわ

宗一郎様は  
学校だし

他の  
サーヴァントは  
攻めてこないし

まあ…

私はここから動けぬ故  
待つことには慣れたが

むゝ

そうだ一緒に  
お昼でも  
食べる？

ほう

たまには  
いいな：  
ありがたく  
頂こう

ズク

！









——つてまさか  
これが暇潰し……か



トイレとかー  
どうするのっ  
かなー♪

なっ

ど……どうしよう



うん  
料理には  
下剤も入れて  
ありましたとき

あなたの分には  
たけ

かーん

まじかー



あ♪

もう来た？  
来ちゃった？

……知っているか  
マスター……



うっ

ドキ

ドキ

ドキ



だ：男女問わず  
美形の人間は用など  
足さないのだよ：



キャー  
カツコイー

小次郎様  
がんばってー

生き生きしてるな  
マスター：



3時間後

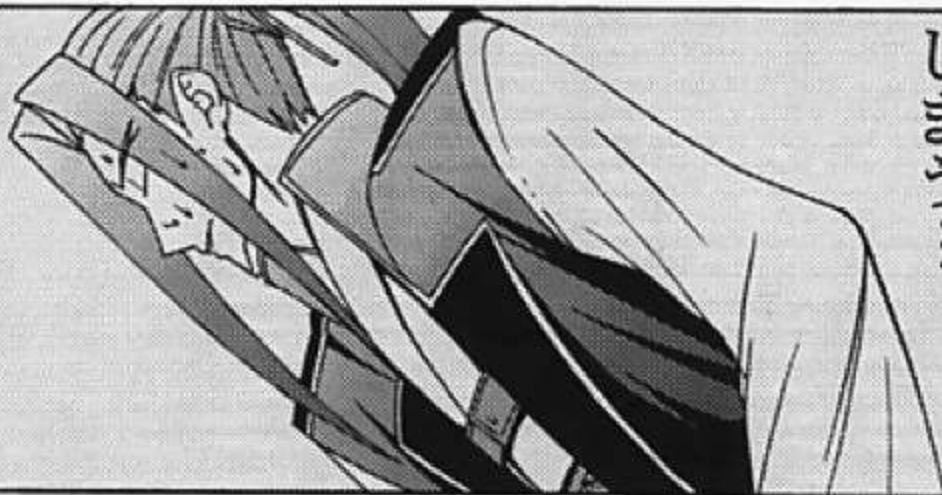


ずん



まずい：  
とてもまずい：  
このままでは  
こう：色々  
大放出して  
しまう：

その辺に隠れて  
乳しようにも  
奴がいては：  
：ああ：  
ゴールしたい：







うふう！



…おかし…  
…

可哀想な目で  
見るな！



お…  
おほお…

ほおお…

フフ…  
素敵なた  
表情…

限界が来たとき  
どんな顔をする  
のかしら…



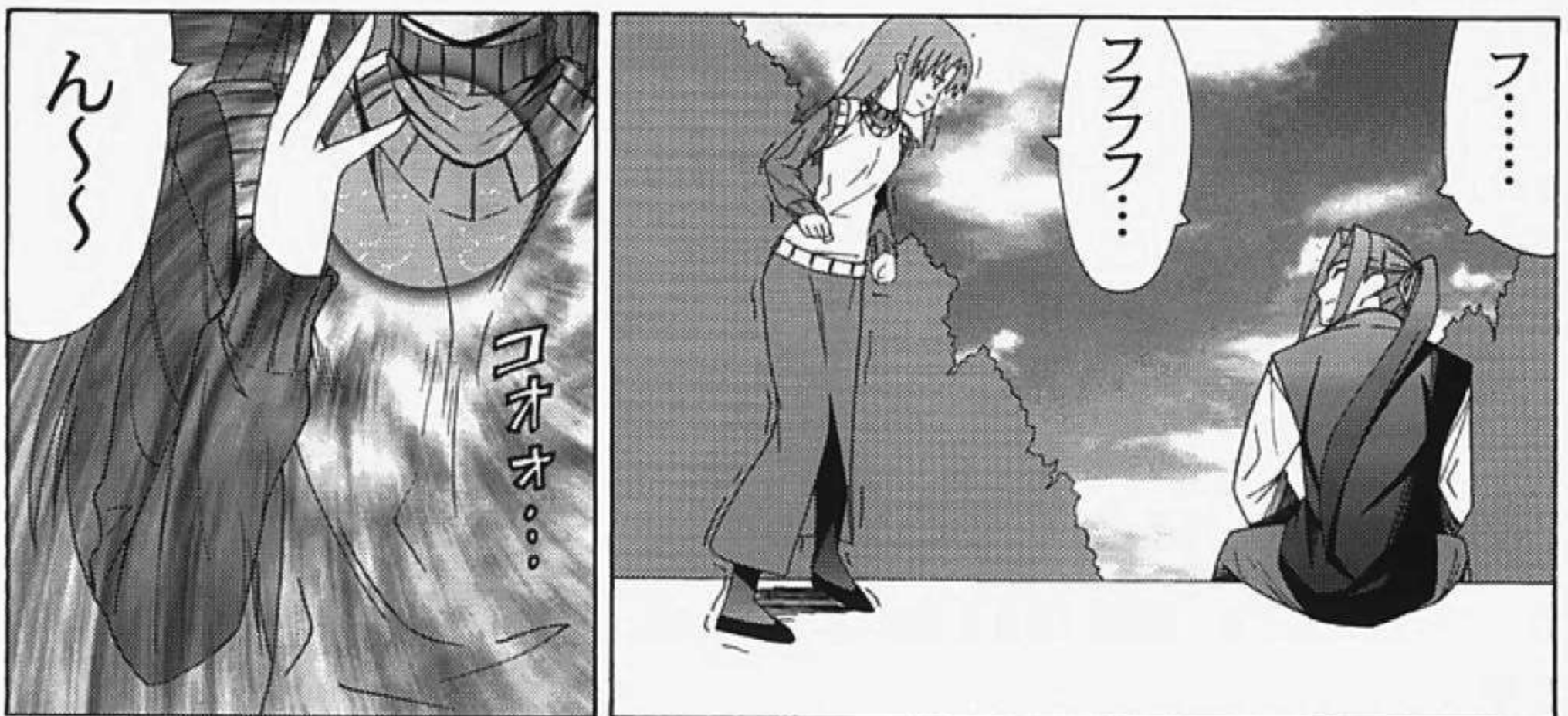
じゅん

あ…



フ…









ば：爆発と一緒にお尻も爆発しちゃわないかなーなんて...

そ...それより先に魔術と一緒に他の物も放つてしまっくんじやないか?



今帰った

もう我慢できない!









# ブルマと王

ヒロユキ





セイバーの事  
でしよ？

よ…よく  
わかつたな…

だがそれならば  
話は早い

ありがたく  
私の悩みを  
聞くが良い

えーあなた何か  
偉ぶってるし  
やだなー

そもそも頼み方  
がなってる

な…

た…  
頼む…

聞こえ  
ない

いいの？どうせ  
一人じゃ  
どうしようも  
なくなつて  
るんでしよ？

くっ

う…麗しの  
イリヤスフィール様…  
この女々しい駄犬の  
悩みをお聞き下さい…

あら

意外と  
物分り良い  
じゃない

ちちち  
ちくしよー！

話してごらん  
なさい





この素晴らしき  
王である我が  
求婚している  
というのに…

何故セイバーは  
私の物にならないのか…  
と思つてな…

あーその  
なんだ…

ストッ



じゃ逆に何故  
セイバーが貴方に  
振り向くと  
思うの？

気にしないで  
……

なんだ…



面白い

まずはやはり  
この美貌だろう

ふむ…  
色々  
あるが…

他にはー？

……





う……うむ……次は  
やはり金だろろう！

我は財宝を無数に  
持つている！  
老後も安心だ！



つまり金が  
あれば女を  
落とせると？

フツ

当然だろろう



ハンツ

バカバカしい  
つぎつぎ！

なななな  
なんだよ

う





まったく…貴方  
セイバーセイバー  
言ってるけど…

セイバーを自分の  
ものにして一体  
何がしたいわけ？



あほ  
——！

ズッ



フハハハハハ  
それは当然  
決まっている

も…



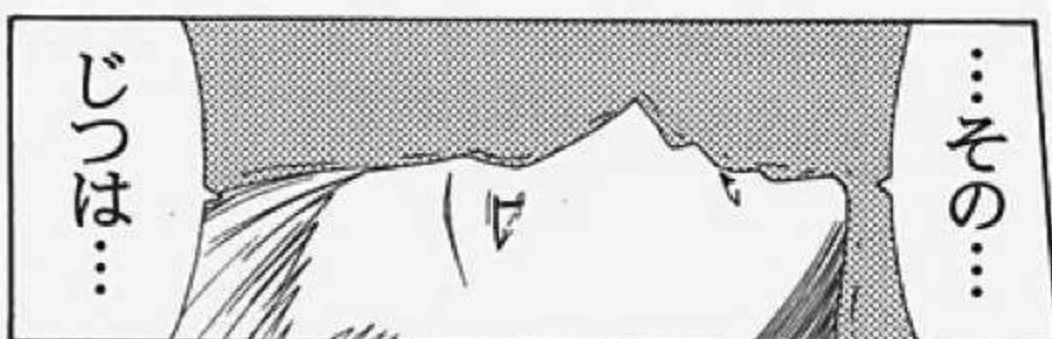
セツクス！



あんたバカ？  
いやバカよ！  
いくらなんでも  
信じられないわ  
不潔！

そりゃ一緒になれば  
そんな事もする  
だろうけど真っ先に  
何言ってるの!?

しかも女の子の前で！



体だけが目的なら  
ふふふぞくでも  
行けば！

この  
どーてい！

先日… 行って…  
… しまいました…

…え…





セイバーに冷たく  
されて…寂しくて…つい

フラフラと…

可愛い子がいるって  
言ってたのに…

なんであんな  
おばちゃんに…  
ムリヤリ…

うわ…

忘れたかった  
のに…

う…



はあ…



もう…元気  
出しなさいよね

ほらハンカチ







いやー  
寝坊  
しちゃって…

遅れて  
ゴメン  
ねー



し…

ししめ〜

いや…

これは…







ぐしゃ



あ…  
セ…セイバーの  
パンチイ…



END



# characters

Arcueid&Akiha&Hisui&Kohaku&Ciel&Sion&Satsuki  
&more





---

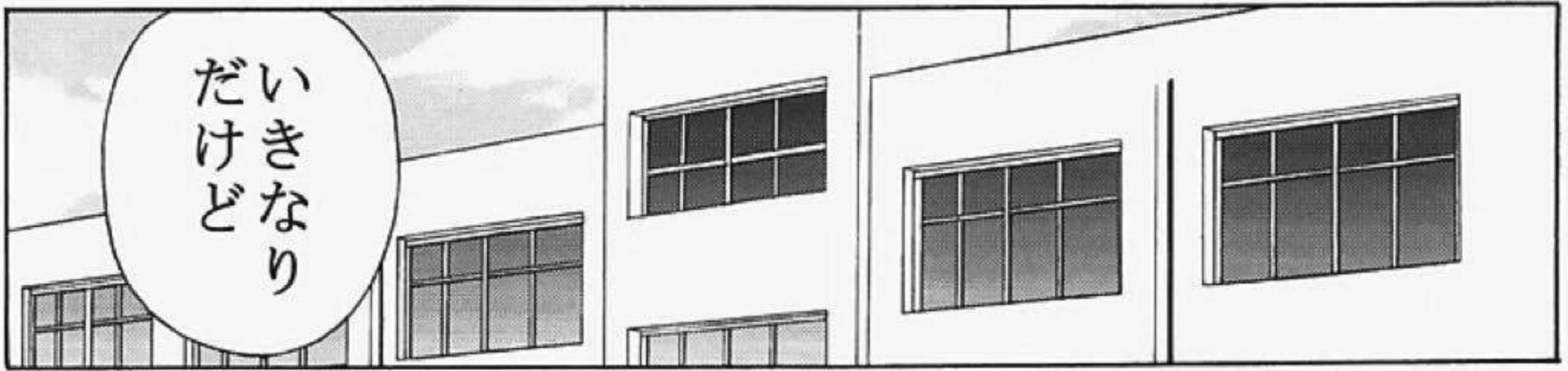
# *Saber*

---

～ヒロユキF a t e同人誌総集編+α～



# 女教師アルクの特別授業







んもー志貴つたら  
冷たいわねえ…

志貴の  
学校生活を  
見に来たのよ



でもさ 教師を  
選ぶあたりは  
偉いと思わない？

遠野  
あの美人と  
知り合い  
なのかよ！

まあ…

ほら…なんて  
言うか…



自分をわきまえてる  
って感じ？

うるせー

ガラッ



まったく  
あなたと  
いう人は…

そもそも教師が  
どんな職業か  
わかってるん  
ですか？

え？ 勉強を  
教える人でしょ？

—それで  
あなたは勉強を  
教えられるん  
ですか？

は？ なんで？

いや  
なんでって…

だって私  
教師じゃ  
ないし

……



一時間目

えー じゃあ  
授業の前に

みんなに  
伝えることが  
あります

じつは私  
吸血鬼なんです

知ってのとおり  
吸血鬼は夜  
活動し 朝は  
寝ます

そして  
今は朝

ぶつ  
ちやけ

眠い！

そんなわけで  
おやすみー

何しに  
またんた...







五時間目  
体育



やっほー  
志貴ー

はいはい…



—つてお前  
何でそんな  
格好を…  
—心教師たち…

え？  
こつこの志貴  
好きかなーと



—お前  
なあ…

ポン



わかつてる  
じゃん



六時間目

うーん…

…どうしたんですか…  
せ…先生?

え?  
あ…志貴…

うーん…いや  
いま六時間目  
じゃない?

よほど学校が  
楽しいのかなあ…

時間が過ぎる  
のが早いなー  
つて…

寝すぎ  
です



放課後

あー  
楽しかった

それで  
一日先生やって  
なにか収穫でも  
ありましたか？

うん♪

ひとつ気づいた事が  
あるんだ

へえ  
何？

えとね…  
恥ずかしい  
んだけど…

その…  
女教師つて  
さ…

なんか響きが  
エッチよね…

だめだ  
こりや



せめて、妹らしく





…いいでしょう  
そこまで言うなら  
今日一日…

兄さんの言う  
「妹」とやらを  
演じて  
さしあげます

え…？ ま…  
マジで…？

え…？  
ええ…

責任は  
取るからな

なんのだ





じゃ…じゃあ  
とりあえず  
「お兄ちゃん」って  
呼んでくれるか？

え…？ あ…  
お…  
お兄…ちゃん？



—いえ 私こそ  
お二人の時間を  
邪魔してしまい…

—ただ一言  
言わせてもらおうなら



…志貴様…

げっ

い…いや  
これは…



個人的には  
「兄ちゃん」の  
ほうが…

通だな…





よし…次は外見…  
というか服装だ

世間には  
メイド服や  
ブルマーなど色々  
あるが 本日は俺の  
一押しがある

しきばこ



これだ

で  
ー  
ん



——って言うか  
マジでお願い…  
せめてこれくらいは  
い…いいだろ？

……  
誰に言ってるん  
ですか…

あれの・マルワ編にレン出でるし…  
もう直す時間ないんや…



結局着る

—ど…  
どうですか…？

あ…秋葉  
いい…

すごく  
いい…

え？  
そ…  
そんな…

でも…

本物は  
もつと…

もつと…

……





ともかく次だ…  
秋葉よ 妹とは  
兄を常に  
愛さねばならない

わかるか？  
ラヴだ

はあ…



—あ…そ…  
そうか…  
兄がこんな変態  
野郎じゃ…

いくら  
優しいお前でも  
愛せるわけないな…

ごめんよ…

そ…  
そんな事  
ありません！

だって私…ずっと  
兄さんの事…

ずいじゅ…



じゃあ

もみゃ





そんなこんなで

もうこんな  
時間か…

よし秋葉  
一緒に  
寝るぞ！

えええ！

5押し351



なんだか  
なあ…

今日は  
ごめんな…



……



え？

一日中俺の  
わがままに付き  
合わせちゃって

でも…一度  
こんな風に  
秋葉と過ごして  
みたかったんだ

兄さん…



…ありがとう

楽しかったよ



わ…私も…  
その…

けっこう…  
楽しかった…  
です…

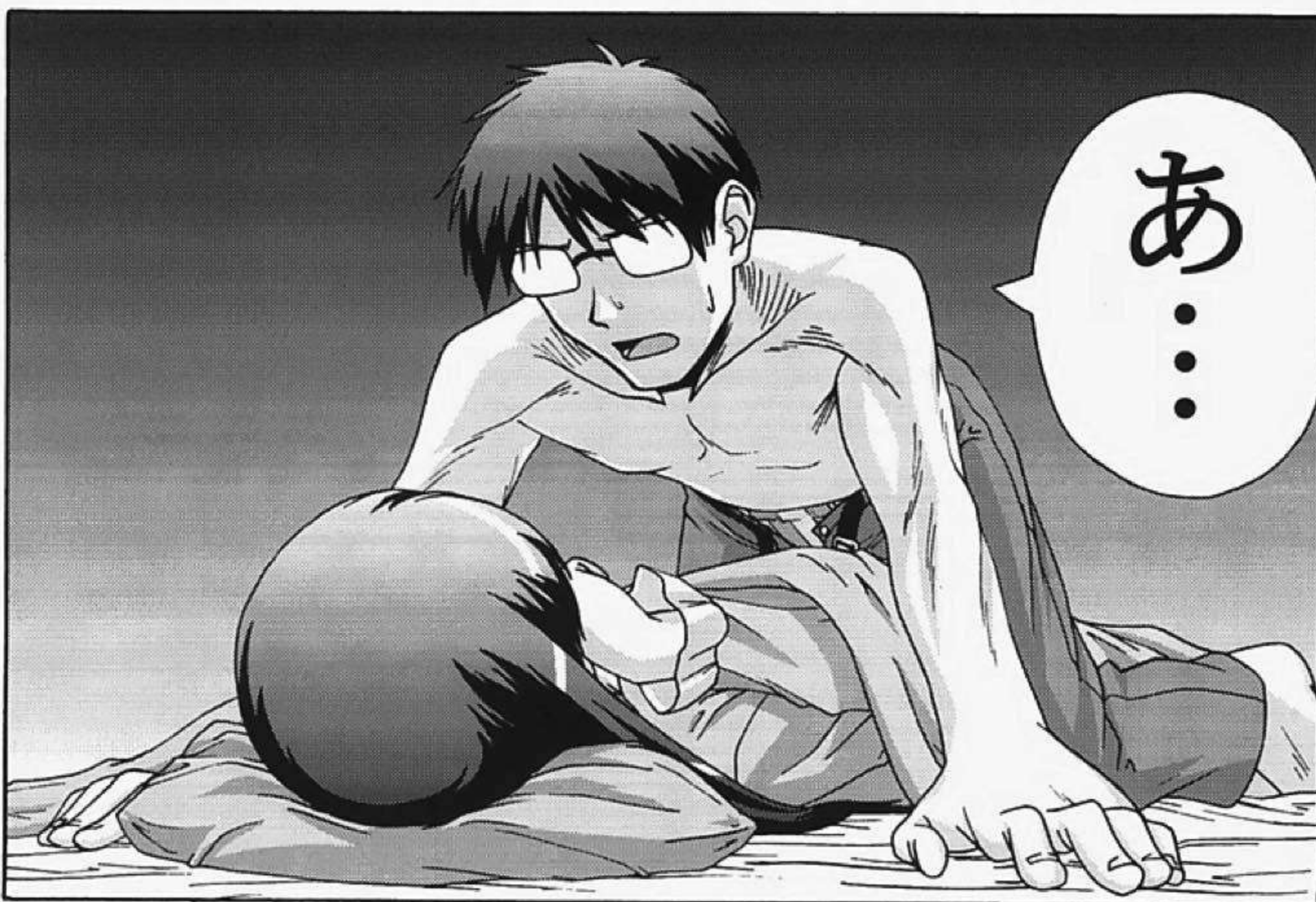
かあ…





……？  
兄さん……？

んん……



あ……



その夜  
ひとりの  
男が

星に  
なつた



パンツ大王とメイドと割烹着パンツ











主人に対して  
その態度：  
：知らない  
のか？

すでにメイドと  
いうだけで  
チヤホヤされる  
時代は終わった  
のだよ…



：それはつまり  
私にはなにか  
プラスαが必要だと  
いうことですか？

その通り

たとえば：  
そうだな：  
メイド：：プラス…



パンツ









スカートの中の  
それは…汚れをしらない  
秘密の花園…パンツ…

翡翠ちゃんのパンツ…  
早く見たい…パ…パンツ…



ああ…パンツ…

狂おしいほどに…  
…パンツ…



触れたり…  
味わったり…

そ…  
そして最後は…  
ぬ…ぬが…  
脱がし…



ああ—





ちよ…あん…  
ね…姉さん…

いやっ…  
そ…  
そんなところ…



こんなとき…



し…志貴様…



デジカメが  
あれば…

メイドを  
辞めようかと思った  
(後日翡翠談)

end



今日くらいは NO.1



シエル  
アンソロの  
発売日が！

私の！  
私による！  
私の為の  
アンソロ！

ついに来ました  
この時が！



よ...良かった  
ですねー

ふ...ありがとうございます...



それにしても  
長かった...

アルク編から  
半年...  
私は...  
私は...



あ...  
あれ...?





こんなに嬉しいのに  
…何故か…

涙が止まり  
ません…









あなたの他にも  
キヤラは沢山  
いるんですから

遠野君にレンちゃん  
：浅上メンバーも  
いれば都古ちゃんも…  
ネロもいましたね

そう考えていくと  
あなたがメインに  
なるのは…

そう…

鹿の次くらい  
でしょう

鹿!  
!?

もつとも鹿アンソロ  
なんて出るわけも  
無いので あなたの  
出番も当然  
ありません

ひん



安心しなさい

次以降に関係なく  
今回メインの私に  
遠野君はメロメロに  
なるんですから

いや それは  
関係ないんじゃないか……

弓塚あ！

ひっ

口を  
慎み  
なさい

はい……  
はい……





解説  
すると…

この  
本は！

こんなに先輩が  
溢れている…

す…す…

せ…  
先輩！

遠野君！

わかったんだ…  
自分の気持ち

今の俺は  
ただひたすら…

先輩の  
お尻に…

突撃…  
ラブハート…





こうなります

わけ  
わかんねー



マスターは料理が  
上手で 胸も大きく  
何より眼鏡っ娘で  
超萌え萌え！

これで私の虐待と  
一日の人参量制限を  
やめて 優しさと  
いう心を持つ事が  
出来れば…



んまっ！

まだそんな  
不服そうな  
顔して！

ならばセブン！ この女に  
私の魅力を教えてあげなさい

は…  
はい！



そもそも遠野君が  
眼鏡好きかも  
わからないし

なっ



一言以上  
余計です

はっー





なんなんですか  
あなた達は…

つていうか  
そもそも…



なんでせつかくの  
このアンソロで！

遠野君じゃなくて  
あなた達と語らなきゃ  
いけないんですか  
ムキ——！



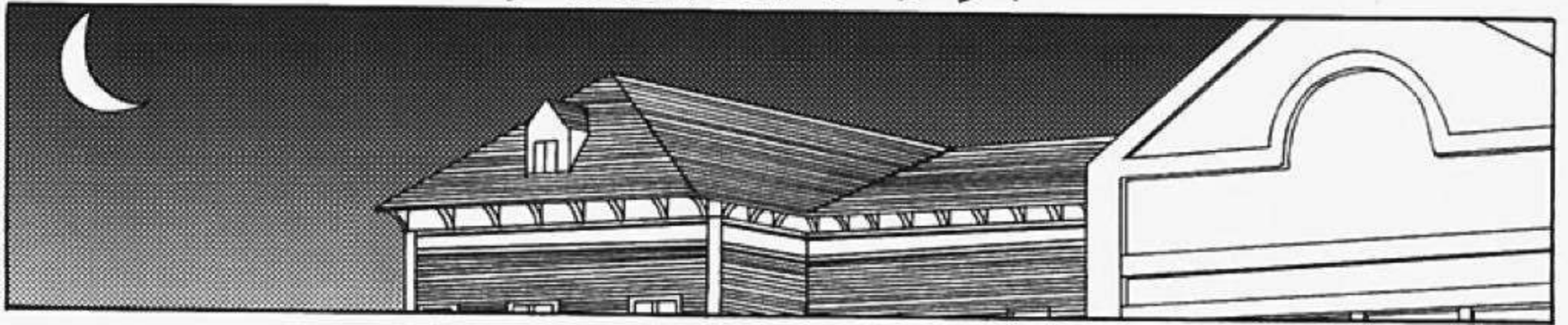
だって私たちも  
出番欲しいもん  
ねー？

ねー？

end



# すっぱだかブラッド











まさかわたしが  
酒の勢いで  
この子を——!?



な…何故隣に  
有間都古が…し…  
しかも互いに  
裸で…

男と女ならこんな  
不祥事もあり得る  
でしょうが、この  
場合は一体…



確かに状況  
的に可能性  
は高い…

でもいくら  
可愛いから  
つて女同士で?



い…いや!

あり  
得ない!

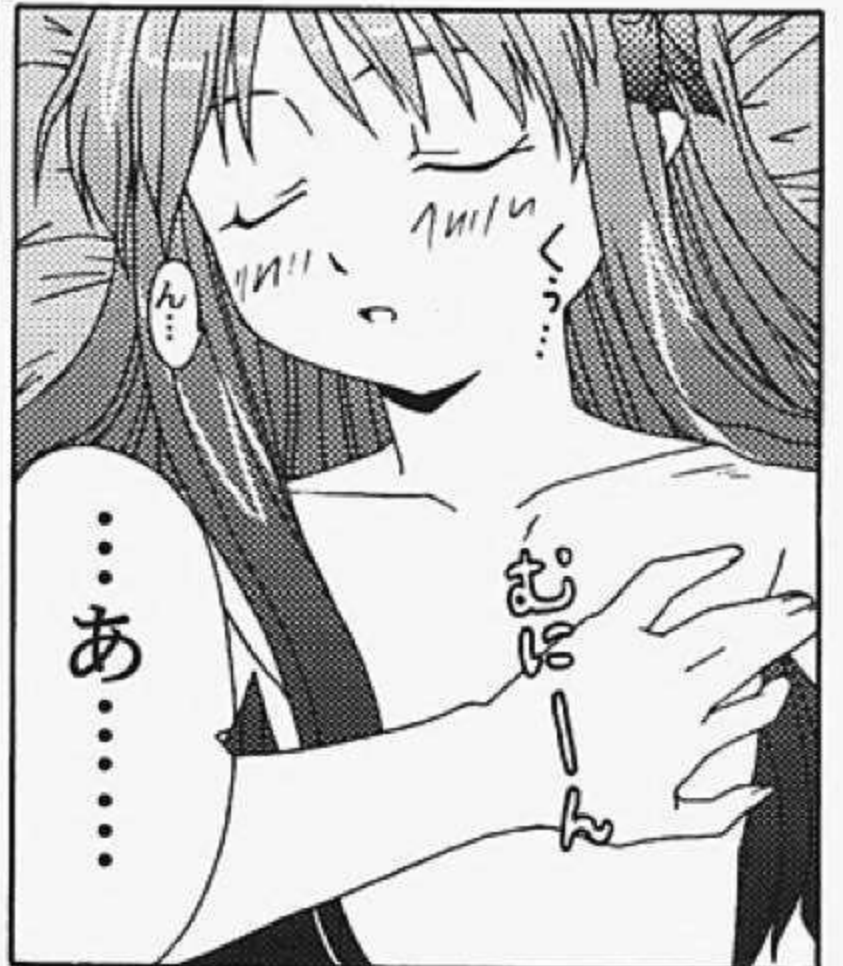
もみゅ



う…さすが子供…  
なんてはりのある  
肌…

すべすべで  
やわらかくて  
…

あ…  
なんか  
私…



…あ…

むにん



見て  
しまった…

ううあ！

し…志貴…  
あ…こ…  
これはその…

違うん  
です！

ん…お兄  
ちゃん？

あ…

都古ちゃんがどんなに  
汚されても お兄ちゃんは  
都古ちゃんを愛し抜く  
から…

お兄ちゃん…

あ

わたし…

わっ

きのう  
むりやり…





こ…  
こ…  
な…  
な…



あんまりですー！

こんなのって



魔眼使いに同じ技は  
二度通じない…

そ…  
そんな



なんでこんな  
ことな…

私がなにを  
したと  
いうのです…

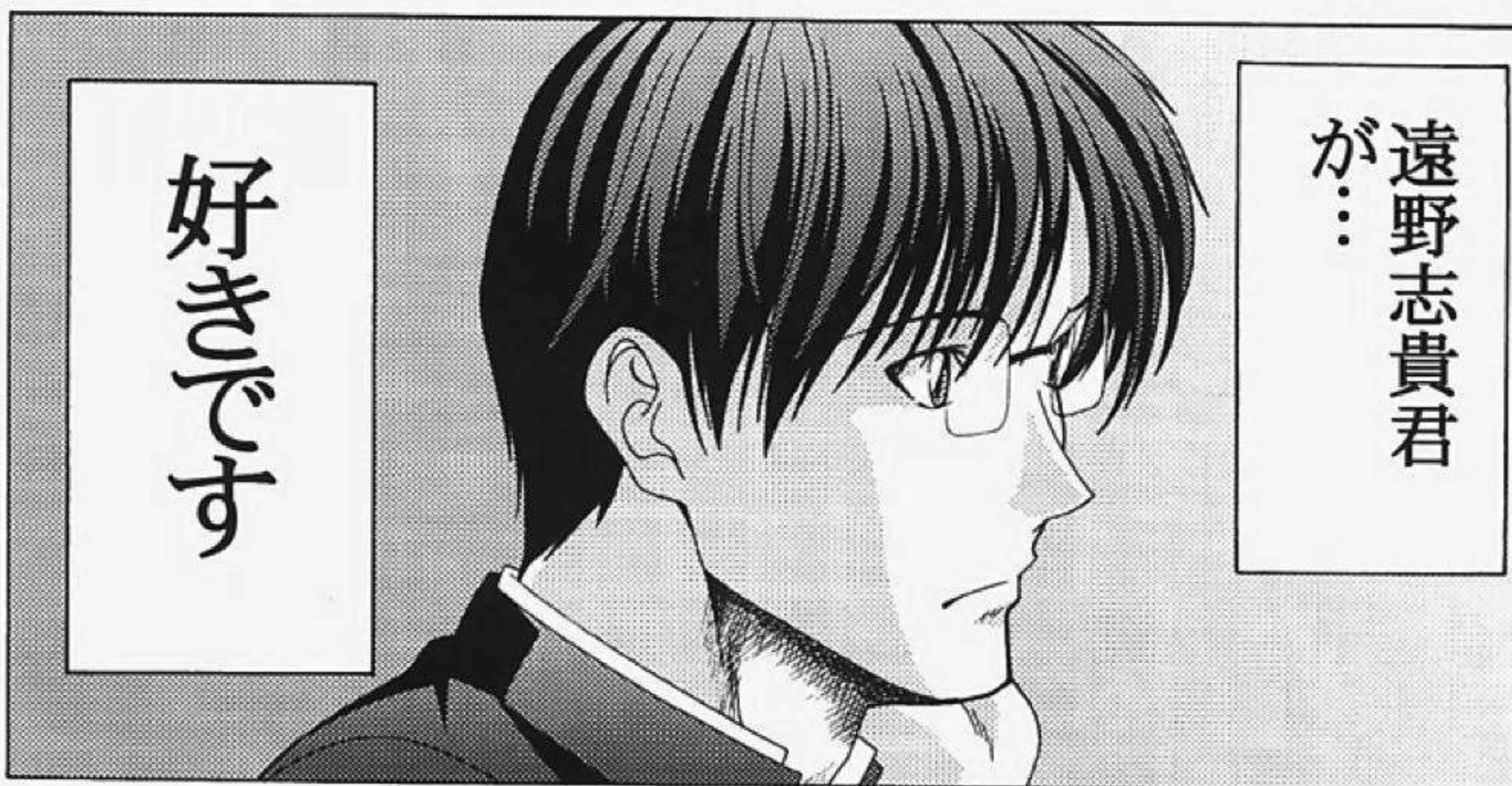
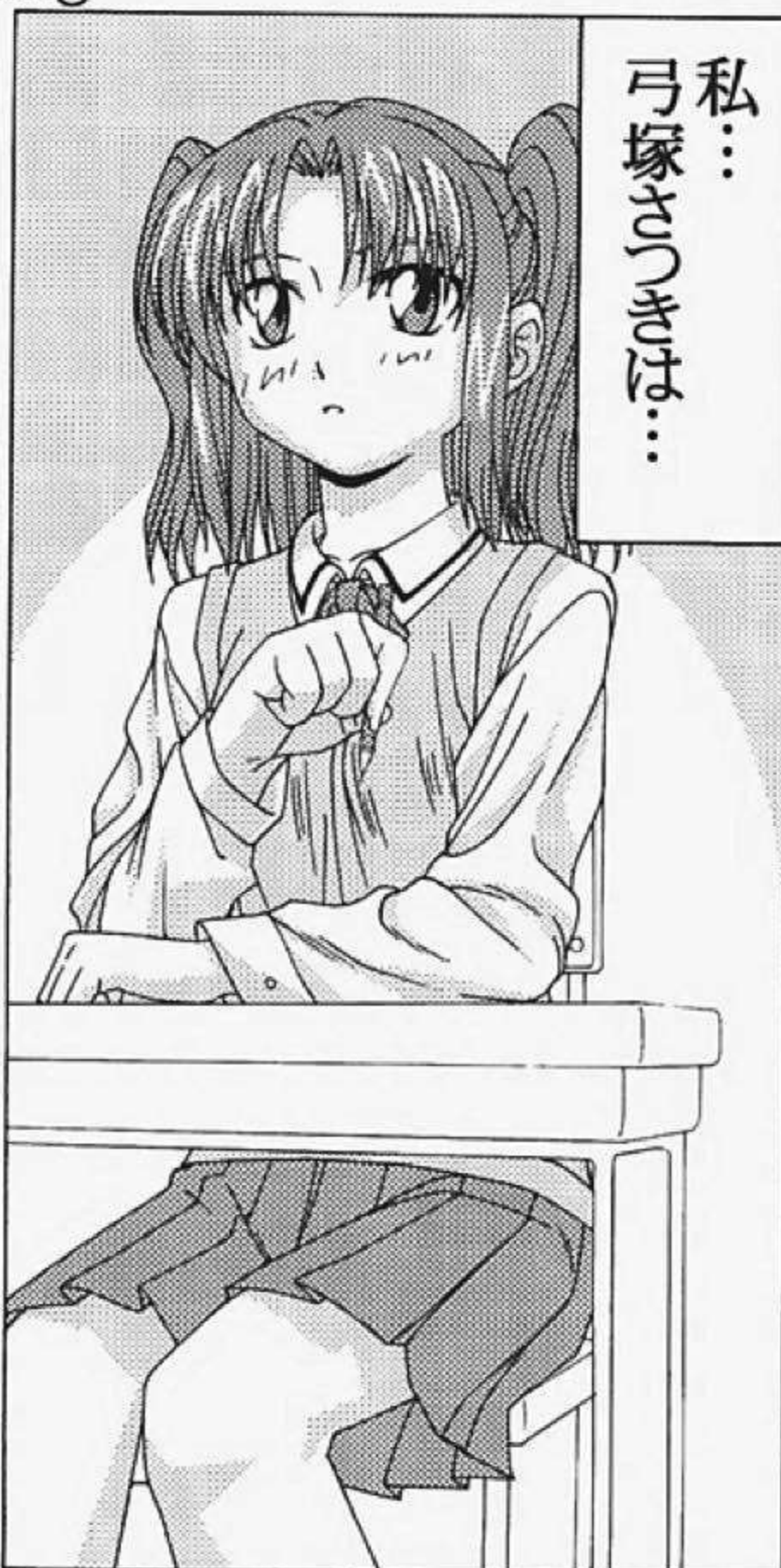




end



love song







あの時

助けて  
くれたから...

それだけじゃ  
ない...



やさしくて  
かっこよくて...

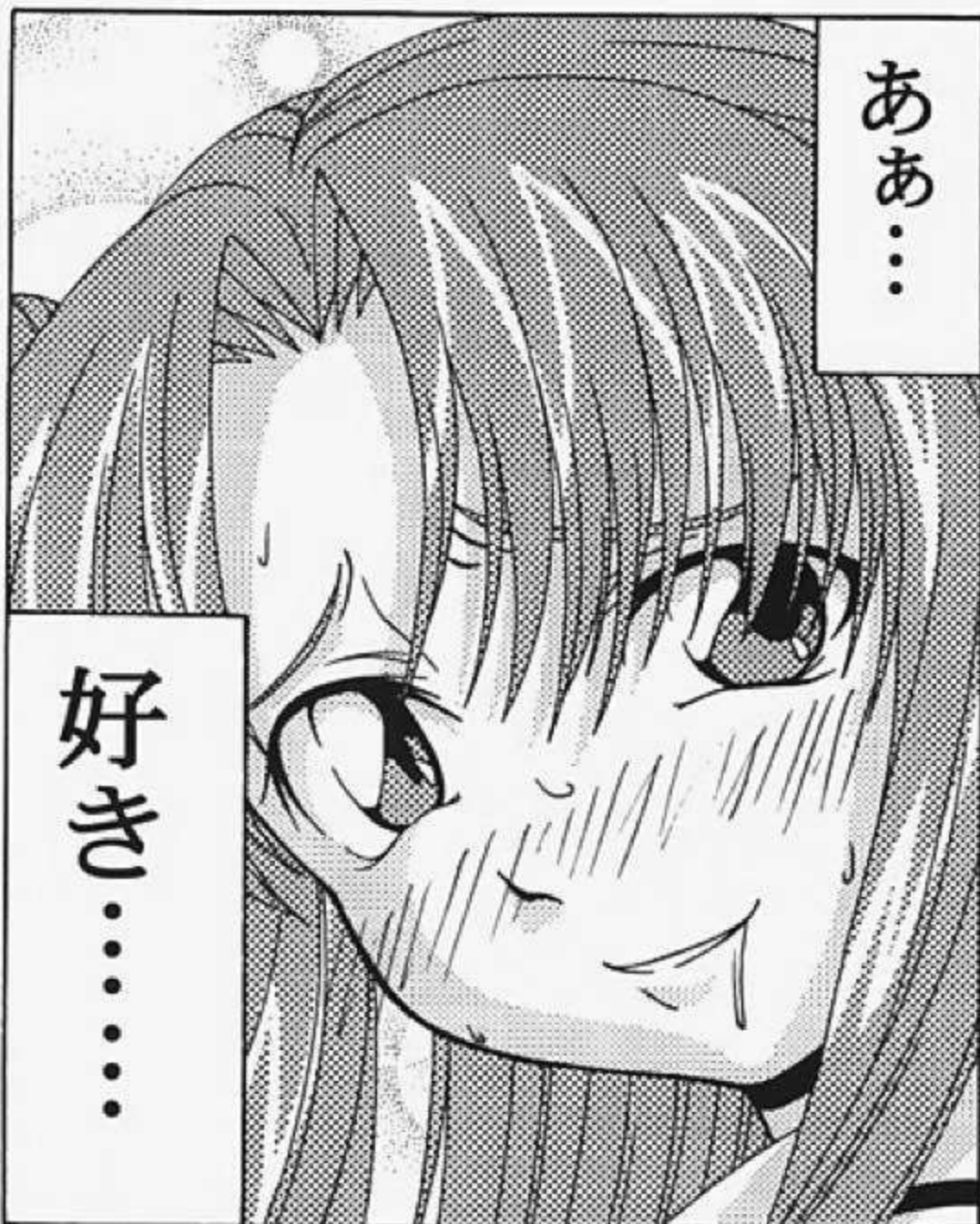
そして...他の  
男子たちにはない



どこか大人びた  
雰囲気



ああ…



好き…

遠野君…  
好き…好き…

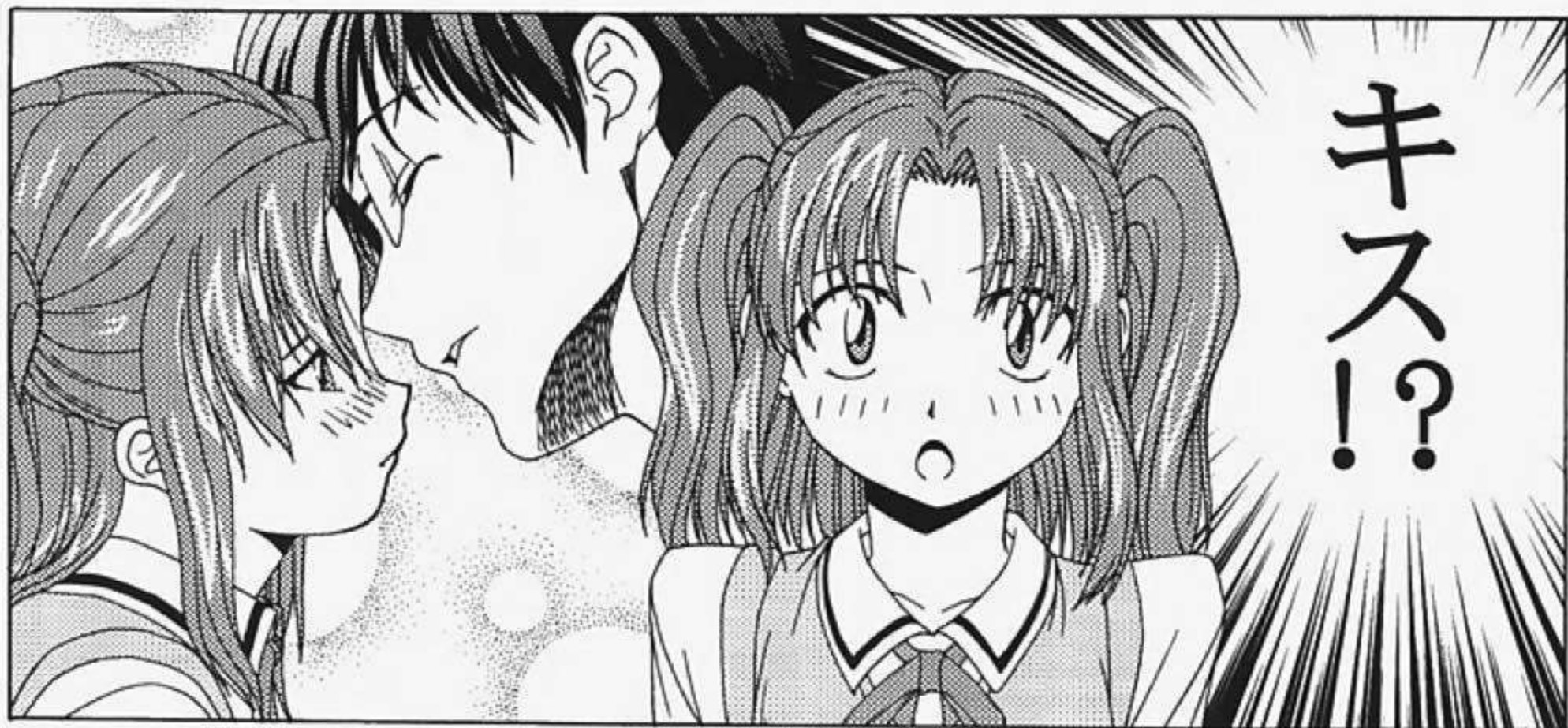


好き好き好き  
スキスキスキスキ…

キ…ス…



キス!?



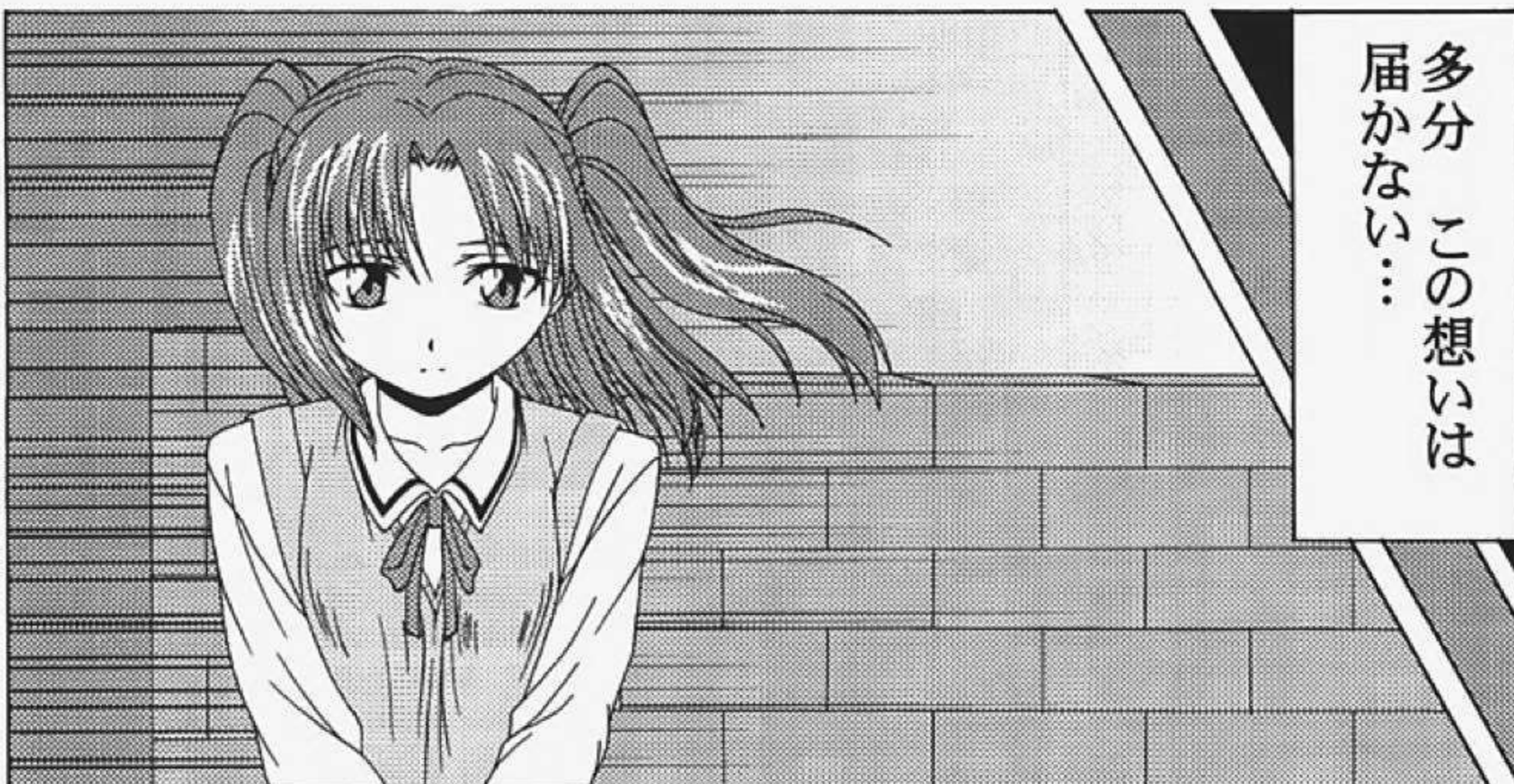
そんな  
遠野君ったら  
だ・い・心  
た・ん♡



だけど…



多分 この想いは  
届かない…



なんとなく  
感じる



遠野君は  
特殊な人



私とは住んでる  
世界も…



見ているものも  
違う…



そんな気が  
する



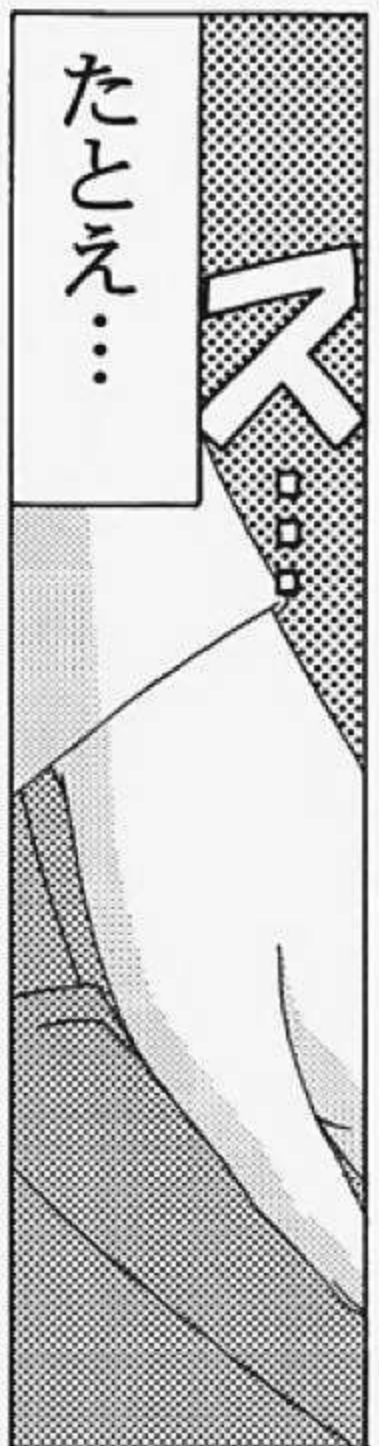


〇〇〇  
すげーにまた



お色気攻撃なんて  
してみても…

スス  
スス  
〇〇〇



たとえ…



遠くを…



見つめてしまっ





でも…

諦められない

諦めたくはない…



そしてその時は…

私を強く抱きしめたうえで  
ベッドに倒れこみ  
激しく…



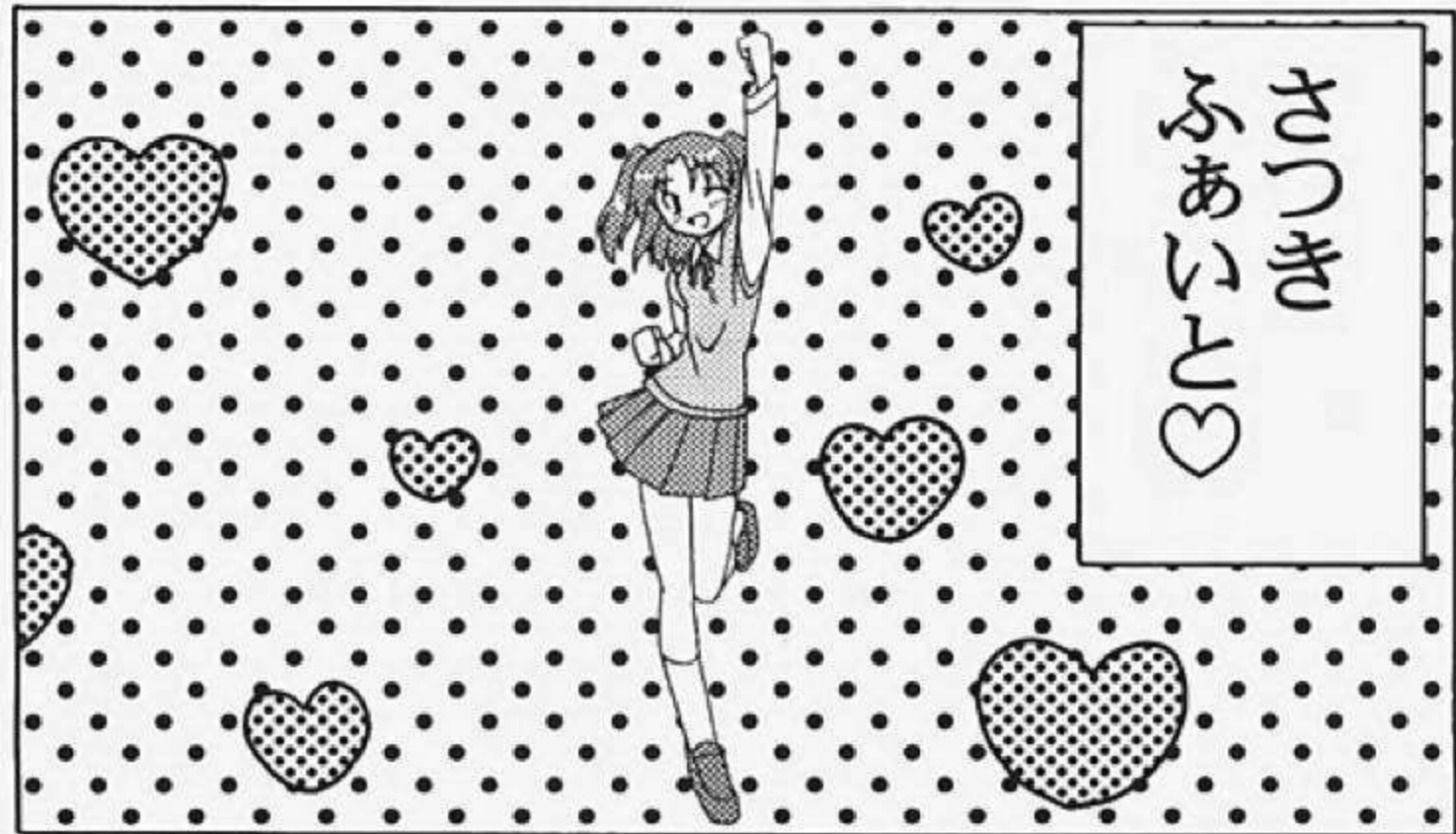
だから私

がんばる!



あなたがいつか…

私に振り向いてくれるまで…



さつき  
ふあんと♡



……

end



好き好きシエル先輩120%

皆さんこんにちは…  
遠野志貴です

カッ  
実は私…今回は  
誰メインのアンソロか  
知らされておりません

なのでここに その  
答えを示唆する  
キーワードが用意  
されています

パッ  
パッ

…ふむ…  
カレーと尻…か…

スッ

カレー  
尻

うーむ…

ああ…  
わかった  
ぞ…

うん…だ…





ちよつと待て  
人間……

そんな答への  
わけ無からう



……



いや……だって  
それ以外考え  
られないし……

ほら見て  
下さいよ

ふむ……



うんこ  
だな……

うんこ  
でしよー？



えーと……ちよつと  
いいですか……？

おお！  
先輩  
いつの間に

その……ぶつちやけ答えを  
言ってしまうと……

このアンソロは  
私がメインなんですよ……

え……？





そ…そんな  
馬鹿な…  
信じられん…

いや本当  
ですつて…



は！  
ちよつと待て…

これが真実  
だとすると…  
…つまり…  
先輩が…



うん…

どんな理屈だ



しかし先輩を  
メインにするとは…

正気の沙汰とは  
思えん…

俺なら確実に  
レンをメインに  
するんだが…

そして十冊は買う

いいじゃない  
ですか私でも…

良いわけが  
ないだろう…

だって…  
だって…

レンのほうか

可愛い  
じゃん！











そんなわけで  
先輩より可愛いレンが  
着ればこのとおり……

じが  
ん

——  
ちなみに



私がこの手で  
着せて  
上げました

……



しかし先輩には  
助けられました

はあ……

いや……レンに水着を  
着せる時に当然のごとく  
裸体を見たわけで……

興奮した俺は色々と  
我慢できなくなりそう  
だったんですが……

先輩の顔を  
見たら

色々な所が  
落ちつきを  
取り戻しました

もう  
いいよ……

end



# PURENNAD

—ピュアナド—





---

# *Saber*

---


～ヒロユキFate同人誌総集編+α～




「智代タンかわいいよかわいいよ智代タン」







あの時既に朋也の事が  
好きになつてたのかも  
しれないな



実はとても  
揉みたかった













優しく  
揉むから...

ああ...  
信じる...



プッ!!



——つて  
朋也!

どこを  
触って...



ああ...

んっ...



いや...胸をさわる  
前に下の汁で手を  
清めるのが紳士の  
マナーなんだよ

そ...  
そう  
なのか

ああ...



うそだな

信じて  
ほしい





ま…ま…ま…ま…ま…  
ちゃんとする気  
あるのか…？

ああ…

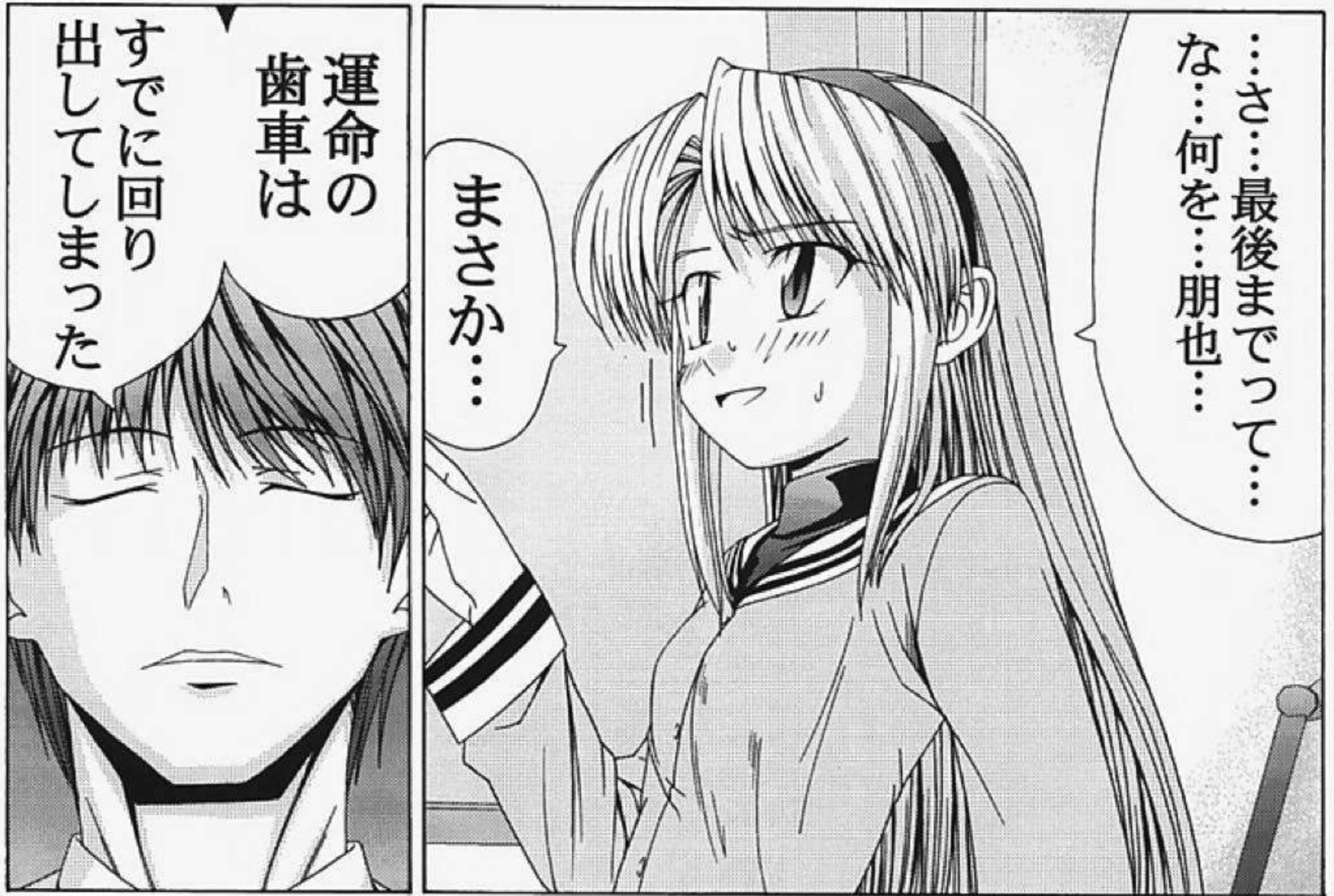
ちゃんと  
やりとげる…



最後まで！

必ず！





…さ…最後まで…  
な…何を…朋也…

まさか…

運命の  
歯車は

すでに回り  
出してしまった



あの頃の  
二人には…

もう…  
戻れない…

な…  
な—!





いたして  
しまいました

わ...私と  
した  
ことが...



ゴムに  
穴が...



責任...  
取るんだぞ？



.....  
.....



「図書室ラブハート」



わたしは  
ことみ



ひらがな  
みつつで  
ことみ



呼ぶ時は  
ことみタン  
ハアハア



はあ...

は...









と…朋也…  
こんな所で…  
な…なにを…

しかもそんな  
ロリっぽい  
子に…

きよ…  
杏！



か…勘違い  
するな！

べ…別に俺は  
何もしてないぞ！  
とうかことみは  
ロリじゃない

…だから…



今からしようとしてたんでしょ？

何かを

するか！





朋也くん…  
なんか怖い…

ことみ…  
いじめる？

あ…いや  
いじめないから



あ…ああ…

じゃあ  
やさしく…  
してくれる？

やさしく…  
するから…



いから…

やさしく何を  
するのかしら…

**飛躍**  
させるな！







まったく  
そんなに  
ブルマが  
好きなら…

朋也!

これをくらうが  
いいわ!



お…おお…  
やるな…杏…

ふ…しばらく私の  
奴隷になるならこの  
ブルマあげるわよ?



杏…



ちよっ…

何するのよ  
朋也!

やめ…

オレは  
悲しい…

……え?





確かに杏の  
ブルマはとても  
欲しい…

朋也…

でも…今の杏は  
ブルマと一つに  
なることで  
それぞれの元々の  
美しさより  
何倍も光り輝く  
存在へと昇華  
されている…

なのによすやすと  
そのブルマを人に  
あげるなんて…

悲しい事…言って  
欲しくない…

— な？

…自分を…

そしてブルマを…  
大事にして欲しいんだ

馬鹿？



「えろだんご」





「ドキドキ妹」



岡崎君の  
未来を占って  
あげます

…いいんだ  
藤林…



この岡崎朋也…  
進むは茨の道

あがこうと  
避けることは  
出来ない



岡崎くん…



そんなオレを  
グッドな占いで  
慰めようとして  
くれたんだな…

でもオレは  
大丈夫…  
いつでも前に  
進んでいける



ありが  
とう  
藤林

アテュー



---

# *Saber*

---

～ヒロユキFate同人誌総集編+α～





えっちな本を  
売っちゃ...

いけま  
せーん!



あーそー



エッチ系が一番  
売れるんだから  
あなたが何言っても  
無駄よ

じゃあ他の事で  
売上伸ばせば  
いいんですよ！

他の事ー？

そうです！

そーねー！

なら某ライバル店の  
~~ミミ~~  
(検閲により削除)  
でも爆破する？

市場をほぼ  
独占出来る  
わよ？

いや…

それは色々と  
やばいですから…

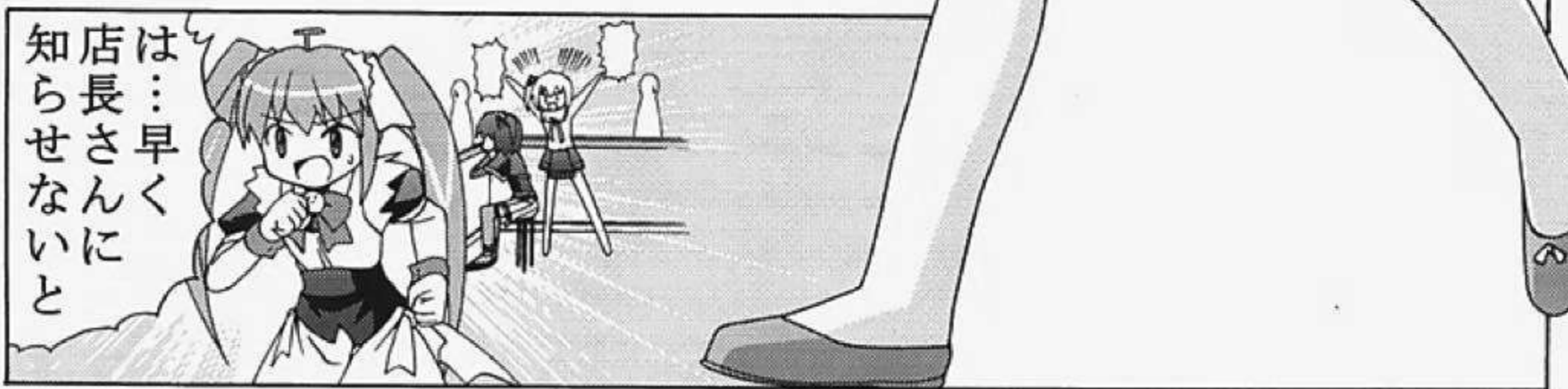
ほら検閲入ってるし…

それが  
ダメなら

大手作家の  
弱みでも  
握って  
ウチに独占的に  
卸させればー？

むー









そうかキミは  
バカだったな!  
はい!

い...言われて  
みれば!

な...何故自分で  
止めなかった!



なに!

二人が  
ケンカを!



急ぐぞ!

はい!



...そ  
それは...

男と女が愛を  
深め合う神聖で  
気持ちいい  
行為なのよ?

何がいけない  
って言うの?

う...  
う...

あなたって  
エッチエッチ  
言ってるけど...

エッチがどんな  
事をするのか  
知ってる?

した事  
ある?



じゃあさ...





そ：  
そ：  
黒もんは：  
エツチした事  
あるの？

え……？



も：  
もちろん  
何度も  
あるわよ？

……  
嘘  
ですわ……

なっ



考えてみれば  
そんな幼児体型で  
男の人にモテる筈  
無いですから！

……  
まあ体型に  
関しては否定  
しないわ……

でもねれもん……

……？





今の世の男どもは

ロリペた  
萌え！なのよ！  
えー



今最もモテるのは私達のような体型の女：

まさか気づいて無かったの？



棚に並ぶロリ本の数々

ごらん  
なさい



そしてそれを読むお客様達を：

モモエエ

モモエエ

モモエエ



あなたなんて  
いっつも騙されて  
連れてかれて

自分で欲しがるまで性の調教をさせられてもおかしくないのよ！

はははわわわー





れもん……

ひら



これでしばらくは大人しくなるわね……

ガクガク

ブルブル



モエモエ

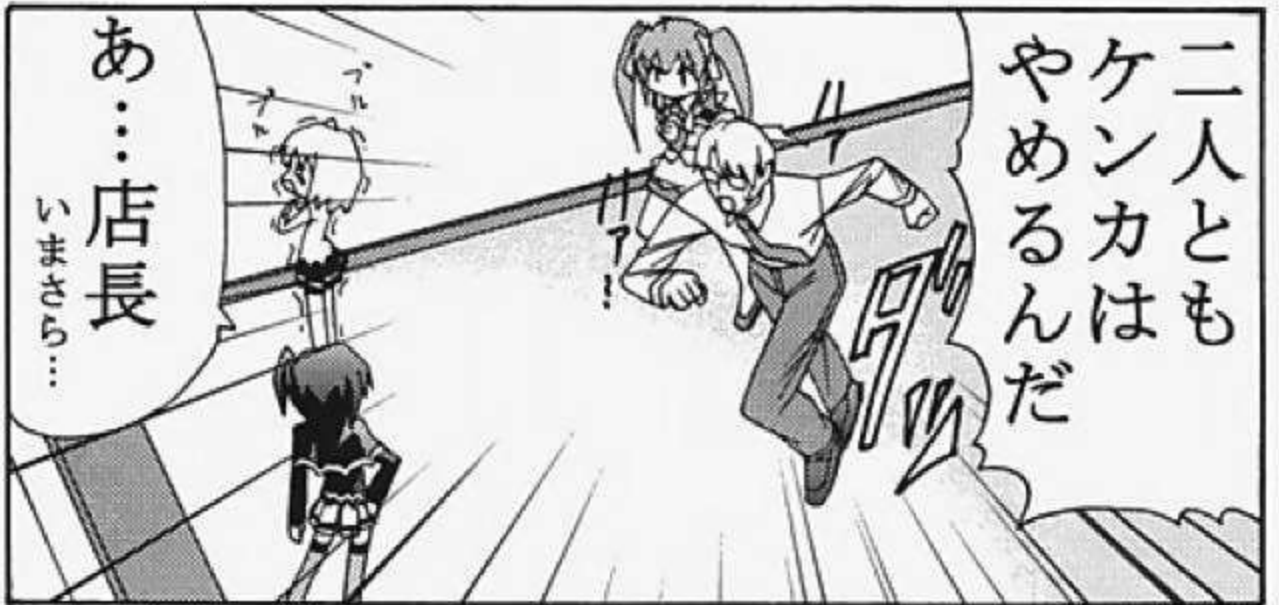
モエモエ

ヤンガク

ガクガク

モエモエ

モエモエ



二人ともケンカはやめるんだ

あ……店長  
いまさら……



……って……

あれ？もう収まったのか……

あ……荒い息づかい……

ど……どうしよう……もしかして……

あ……  
疲れた





よ  
ウボア

いやああああ

ケンカは  
ダメだ…



ケンカ  
両成敗

何で  
私まで…

いらつしゃい  
ませー

次の日の  
メロンブックスは  
ブルマデーでした  
(店長の趣味)

かわいいー



……あれ？





---

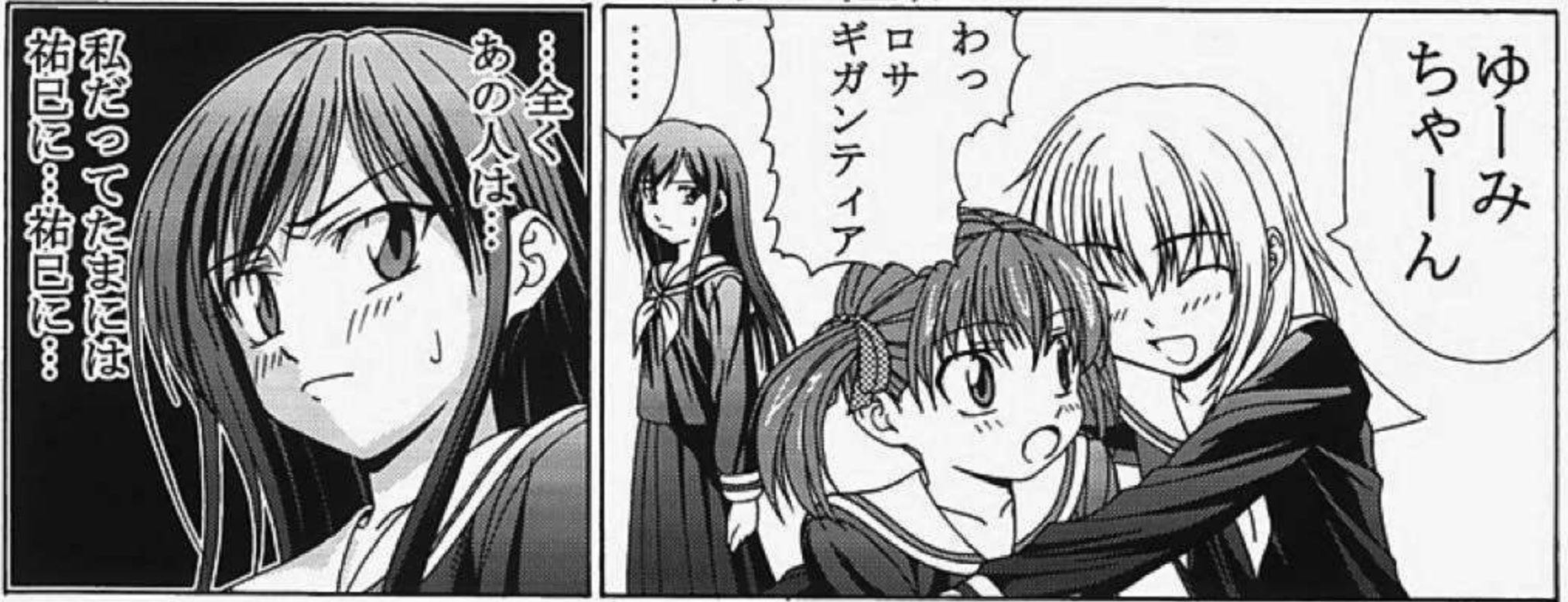
# *Saber*

---

～ヒロユキFate同人誌総集編+α～



マリア様が淫乱







私…ずっと  
お姉さまにこう  
されたいと  
思っていました…

え…

あ…ゆ…  
祐巳…？



いつまでも  
待っていますから…

お姉さま…



…ひとつに  
なりましょう…

お姉さま…



そ…そんな…  
祐巳…

私…私…



まだ早いと  
思うのーっ！

あ…



---

# *Saber*

---

～ヒロユキFate同人誌総集編+α～



はじめまして&こんにちは、ヒロユキです。  
総集編、楽しんでいただけたでしょうか。  
今回時間が無くて特に書き下ろし等無くてスイマセン。  
いろいろいっぱいいっぱいでした。

「ドーシンワーク」も、気がつけばアニメ化したり  
コミックスもいつの間にか4巻も出てたりと  
あっという間に色々なことがありました。  
これからも色々あるといいですねー。  
主にアニメのDVDがそれなりに売れると  
2期とかもあるかもしれませんので  
どうぞ色々よろしくお願いします。

とりあえず総集編をまとめてると、  
見返すのも恥ずかしいくらい色々アレでした。  
自分で思ってたよりもずいぶん変わってますね…。

ではでは、これからも何かしらと  
がんばろうと思っていますので、  
よければお付き合いください。喜びます。

とりあえず目の前の締め切りを何とかするため  
がんばってきますー。

ヒロユキ



S a b e r ～ヒロユキF a t e 同人誌総集編 + α ～

発行日 2007年8月19日 初版

作者：ヒロユキ

サークル：自称清純派

連絡先：kanno@sr.incl.ne.jp

HP：<http://seijunha.com>

印刷所：(株) パワープリント様